第3回　河川レンジャー
大阪ブロック運営会議（R8.3.2）
資料－3

令和7年度
淀川管内河川レンジャー 活動報告集計表

【大阪ブロック】

福島出張所管内

毛馬出張所管内

枚方出張所管内

高槻出張所管内

目　次

活動報告集計表について …… 1

福島出張所管内河川レンジャー

兒玉　曜子　（18期生:1年目） …… 3
白川　公彦　（19期生:試行） …… 4

河川レンジャーアドバイザー
辻川　松子 …… 6
西岡　和昭 …… 8
亀井　伸幸 …… 9
桑村 和男 …… 10

毛馬出張所管内河川レンジャー

伊藤　茂　（12期生:7年目） …… 11
岸田　俊徳　（15期生:4年目） …… 13
波戸　睦　（19期生:試行） …… 16

枚方出張所管内河川レンジャー

道場　明子　（14期生:5年目） …… 20
岡村　雅広　（17期生:2年目） …… 23
天野　康生　（18期生:試行） …… 28

河川レンジャーアドバイザー
上田　豪・玉井　理恵 …… 30
安田　宇江亜 …… 33
山口　遼太 …… 34

高槻出張所管内河川レンジャー

杉本　真一　（14期生:5年目） …… 35
竹本　克巳　（16期生:3年目） …… 37
奥山　佳一　（19期生:試行） …… 40
小林　勝男　（19期生:試行） …… 42

河川レンジャーアドバイザー
酒井　信行 …… 44
原　健二 …… 45

連携活動 …… 47

1　活動報告集計表について

1.1　目的

活動報告集計表は、河川レンジャー活動の充実・向上および河川レンジャー制度の進捗点検に活用することを目的としています。

1.2　集計表の概要

集計表は、活動報告をもとに、活動で得られた成果と課題をとりまとめた資料です。

活動ごとに河川レンジャーによる活動の確認結果を一覧表としてまとめています。さらに、一覧表には、河川レンジャー自身が、活動結果の確認の総括として、『活動全体におけるアピールポイント』および『活動結果を踏まえた今後の課題・改善点』を記載しています。

1.3　活動結果の確認

河川レンジャーが活動結果を自ら確認する内容は、以下のとおりです。

各河川レンジャーが、年間活動計画において位置付けた活動の目的・目標（STEP１～３）の達成状況を確認・記入するとともに、活動の充実度、定着度、地域への貢献度、河川事業への貢献度について確認し、該当する項目には○を付け、そのなかでも、アピールポイントに記載した内容に特に関係の深い項目は、●を付けることとしています。

表 1.3.1「達成状況」「取り組み内容」の確認項目

項目	内容
目標等に対する達成度	1）年間活動計画に示した目標や活動内容に沿った取り組みができたか？
	2）年間活動計画に示した「課題に対する改善点」を踏まえた取り組みができたか？
活動の充実度 （活動における工夫の有無）	① 活動内容について、これまでの課題を“改善”するような工夫はあったか？ ② 活動内容を更に“充実・発展”させるような工夫はあったか？ ③ 活動内容に関して、参加者の声を聞くような取り組みや工夫はあったか？ ④ 活動の広報において、口コミ以外で参加者数を増加させるような工夫はあったか？ ⑤ 継続活動において、メンバー構成（レンジャーの参加者や連携団体）は多様化したか？
活動の定着度 （活動の定着度や広がり、公共性、公平性、継続性の有無）	⑥ 活動は地域の要望（ニーズ）を受け継続しているか？ ⑦ 活動において地域の協力は得られているか？ ⑧ 活動は広く周知され、誰もが公平に参加しやすいものとなっているか？ ⑨ 継続活動において、活動回数や参加者数は増える傾向にあるか？
地域への貢献度 （地域（人）と川の繋がりの促進への貢献度）	⑩ 地域住民の川への興味を向上させ、川の利用、川とのふれあいを促進したか？ ⑪ 地域や連携を図った相手の“川に対する考え”や“活動”に変化はあったか？ ⑫ 河川を愛護する団体などを創出したか？
河川事業への貢献度	⑬ 河川整備や水辺整備、河川管理に関する“住民意見の聴取”（すでにある計画や施設に対する意見の聴取・収集）に貢献したか？ ⑭ 河川整備や水辺整備、河川管理に関する“ニーズの抽出”（河川管理者が把握できていないニーズの抽出）に貢献したか？ ⑮ 河川整備や水辺整備、河川管理への住民の関わり（事業等のプロセス（ワークショップなど）への参加・協力）を促進したか？

1.4　貢献分野

集計表では、活動ごとに、主たる貢献分野（一つの活動につき一つの分野）と波及貢献分野（一つの活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野で、複数の分野に該当している場合があります）を示しています。

表 1.4.1 河川レンジャーの活動事例

貢献分野	活動事例
A：治水・防災	河川管理施設の学習会、水害・水防工法の体験学習、マイ防災マップづくり、避難活動
B：環境保全	自然観察、外来種の除去、生物調査、水質調査
C：河川利用	河川利用者への安全指導、不法投棄・不法工作の把握、節水意識の啓発、Eボート体験
D：維持管理	清掃活動、水辺の安全利用点検、河川管理施設等の異常箇所の把握
E：歴史・文化	河川に係わる史跡の探訪、歴史・文化講座
F：川・人づくり	河川公園ワークショップ、意見交換会、ジュニア河川レンジャーの養成、河川愛護団体の創出

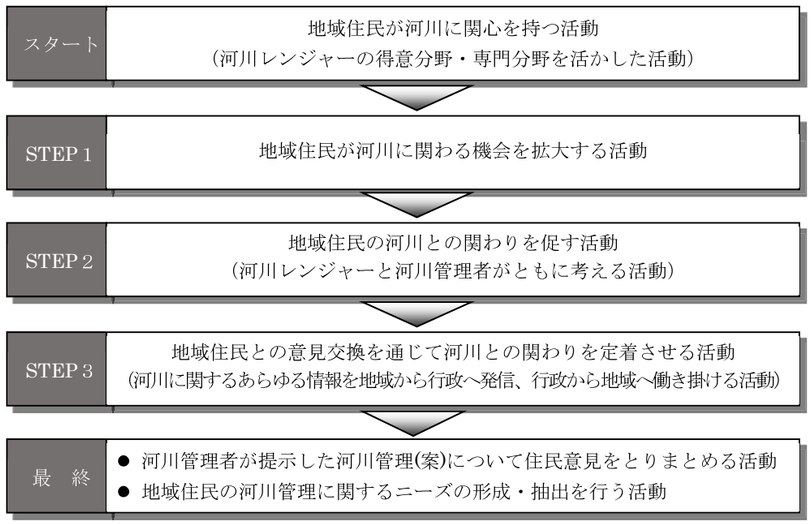
1.5　運営会議における意見聴取

運営会議では、活動の成果と課題を確認し、活動の充実・向上に向けた意見聴取を行います。

会議における意見は、河川レンジャー活動の定性的評価として資料にとりまとめるとともに、活動の改善につながるよう河川レンジャーに提示します。

～河川レンジャーの目指す方向～

河川レンジャーの活動は、自然観察や施設の見学会などの河川への啓発活動を単発的に実施するのではなく、最終の目標を見定めて、知識や経験等の蓄積に応じてステップアップを図りながら、河川レンジャーの役割を果たしていくこととしています。



河川レンジャーの目指す方向

活動報告集計表の凡例

集計表には、単独活動と連携活動の 2 種類があります。
単独活動は、河川レンジャー1 名が主催（または共催・協力）した活動であり、
連携活動は、企画から運営までを複数の河川レンジャーが連携して実施した活動です。
各項目の確認内容を示します。なお、活動ごとのアピールポイント記載欄には、計画していた活動が未実施の場合は、その理由を記載しています。

氏名		区分		所属	

1．活動の目的・目標

1.1活動の目的

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	実施時期
Step1			
Step2			
Step3			

3．総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題・改善点
上半期		

＜活動の充実度＞
活動において工夫・変化・発展があったか。また、広報において工夫・取り組みがされているか確認。

＜活動の定着＞
活動の定着度や広がり、公共性、公平性、継続性の有無や地域の協力は得られているかなどを確認。

＜地域への貢献度＞
地域（人）と川の繋がりの促進への貢献度を確認。活動により、地域・自治体に変化をもたらすことができたかを確認。

＜河川事業への貢献度＞
河川整備や維持管理などに関する住民意見やニーズを集めることができたか確認。また、河川整備や水辺整備、河川管理への住民の関わりを促進することに貢献できたか確認。

2．活動計画と実施結果　凡例｜灰色：計画に対して未実施となっている活動　その場合は、未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
																			活動の充実度					活動の定着度			地域への貢献度			河川事業への貢献度					
									1）	2）	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮			
1	2019/ 5/ 6	第3回●●河川公園整備計画検討ワーキンググループ	●●市●●公民館（●●地区）	共催	45	1	2		普通	普通	3	3			●			○								○			○		○			○			SNS（facebook）での告知を行った結果、参加者数の増加に繋がった。
2	2019/ 6/ 10	●●川クリーンアップ＜連携＞	●●川●●橋～●●橋区間	共催	200				できた	できた	2	2		○		●		○		○		●		○	○	○		○									活動後の座談会で河川管理に関する意見が出たので、活動報告に併せて河川管理者への報告を行った。（住民意見の聴取に貢献した）
3	2019/ 7/ 10	●●川での魚つかみ体験＜他ブロック管内で実施＞	●●川●●橋付近	主催	30			1	できた	普通	1	1		●	○			○			○			○		○		○	○		●					

＜貢献分野＞
それぞれの河川レンジャー活動が、どれだけ幅広い分野に波及効果をもたらせたかを確認。
●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野

氏名	兒玉　曜子	区分	河川レンジャー（1期目）	所属	福島出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

防災・歴史・環境保全をテーマに掲げ、地域住民に川への関心を高めることができる活動を通じて活動参加者からの意見聴取を行い地域の川の課題を把握する。住民との交流などを通じて、話し合いの場を作り地域住民に防災・川の環境保全・利活用などについて取組んでいくことを目指す。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	防災活動を通じて淀川流域の地域で暮らす方々に対して防災・治水に関心を高める。	淀川流域のコミュニティに参加し、防災・治水の啓発活動を行う	⇒	⇒			
		淀川の歴史、文化や自然環境についての情報発信観察会や河川清掃活動を行う	⇒	⇒			
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	自治体やその地域住民と連携して活動を行う協力体制を整えていく。	地域住民に対しての防災活動、ハザードマップ作成等を行い水防意識を高める活動を行う			⇒		
		川や河川敷、流域地域の歴史探訪や環境保全活動を行い、現地に行き水害・防災への理解をすすめていく			⇒		
		自治体や自治会と連携した河川清掃の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	地域に残されている自然環境を保全しながらも安全安心に暮らせるような天災から身を守れる住民環境作りや情報発信。	川や河川敷、流域地域の歴史探訪や環境保全活動を地域住民の交流を通じて理解をすすめていく				⇒	⇒
		社会貢献や福祉活動を通じて行政にも情報を発信していけるシステム作りや想定外な事態からの安全な避難活動					⇒

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	淀川の清掃は、行政や市民団体が長く守ってきた活動です。淀川のヨシ原は、多くの野鳥や魚類、昆虫の住処となっています。単なるゴミ拾いではなく、ヨシを適切に管理（清掃や刈り取り）することが、水質浄化や生態系維持に直結することを伝えることができます。十三・新北野エリアは大阪都心（梅田）からすぐの好立地です。集合しやすく、半日単位でのボランティア設定が可能となりビル群を背景に広がるヨシ原での作業は、心身の健康向上や体験価値に寄与します。地域社会・行政との「共創」にも役立てると考えています。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	今後は企業だけでなく地域住民の方々、特にこれまであまり河川敷に足を運んでいなかった層に「面白そうだな」と思ってもらうには義務感（清掃）よりも趣味（楽しみ・身近さ）を前面に出せたらと思います。毎年河川敷で行われる花火大会で蹂躙されてしまう「ただの草むら」だと思われているヨシ原を、地域の自慢（ブランド）として再定義していけたら。都会の真ん中（十三・新北野・西淀川区）に、これほど多様な生き物がいるギャップを強調して「カニや珍しい鳥に出会える、徒歩で行ける自然公園」として紹介する。かつて淀川に広がっていた原風景が、残っていてヨシ原が夏の気温上昇を抑え、空気をきれいにしているという「生活への恩恵」をアピールしていく。河川敷の管理はそのまま「水害対策」に直結するように活動場所がハザードマップでどう表記されているか、清掃を通じて、避難経路や堤防の高さを肌感覚で理解してもらえるようにアピールできるかなど課題は多い。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		
1	2025/11/15	新北野ヨシ原清掃活動	新北野の河川敷ーヨシ原再生エリア	協力	11				できた	普通	1	1		○		●				●								●									[充実度]事前に細かく打ち合わせを行い、要望を聞いておき各世代の方々も楽しんで参加いただけるように工夫した。ヨシ笛は遠慮されていたがカットは事前に済ませて現地では貼り付けるだけの簡単な作業にし、時間短縮と「笛を吹く」ことを楽しく参加していただけた。[地域貢献度]参加者の中に近隣に在住の方がおり、熱心に清掃活動されていた。十三地域の情報など提供できた。
2	2026/1	西淀川区マイ・タイムライン	大阪市西淀川区姫島	主催																																連携先と調整し、今回はレンジャー活動として実施しないことにした。
3	2026/6	新北野再生ヨシ原清掃活動（春季）	新北野の河川敷ーヨシ原再生エリア	協力																																企業の都合がつかずとりやめ。

氏名	白川　公彦	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	福島出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

淀川では水難事故は毎年発生しています。このような水難事故を未然に防ぐために、プール等での水着での泳ぎと違う、着衣での泳ぎの難しさを身をもって体験させ、万が一事故に出会ったときの落ち着いた対応を学ばせるため、大阪市内の小学校での出前授業を中心とした啓発活動を行います。また、各自治会への訪問安全講習（水辺の安全学習）を通じて、川は危険な場所という認識を持ちながら、少しでも川に親しみを持ち、安全に利用できるようにします。

1.2活動の目標　目的を達成するための段階ごとの目標とそれを達成する手段(活動内容)を記載　⇒で目標達成までの期間を入力

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	淀川の特性や安全な利用について、地域住民の理解を深めることをめざす」	大阪市内小学校での着衣水泳授業の実施	⇒	⇒			
		各自治会への安全浸水講習（水難事故事例の説明、ライフジャケット着用体験等）	⇒	⇒			
		西淀川区淀川右岸クリーン大作戦（連携活動）	⇒				
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む							
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築							

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	寝屋川市、枚方市、守口市の市立小学校での水辺の安全出前授業を行うことにより、地域の公立小学校が抱えている、着衣泳をはじめとした問題点を共有できました。ライフジャケット着用体験では、子供たちがのびのびと活動している様子を目の当たりにして、川辺での積極的な親しみ活動につながっていって欲しいと感じました。 また、小学校やこども食堂での防災出前授業をスタッフとして経験し、ノウハウを蓄積できたと思います。防災授業へのニーズも高いことがわかり、今後の出前授業を積極的に行っていきたいです。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	川辺の安全出前授業や防災教育活動を通じて、児童が各家庭に成果を持ち帰ることにより、その家族を含めて川に親しんでもらえる機会が増えるものと思います。また、学校間で我々の着衣泳授業内容を参考にしてもらい、地域で横展開していただくことを目標をします。川辺での安全教育を兼ねた、自然観察を行うことにより、淀川に関心と親しみを抱いていただける人を増やします。これにより、参加住民の意見を汲み取り、より安全に淀川に親しむにはどうあればいいのかを聞き取り、取りまとめて行政とともに考えることができればと思料いたします。

２. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動（理由をアピールポイント欄に記載）、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目 1）計画達成状況	確認項目 2）課題改善をふまえた取組	STEP 計画	STEP 結果	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目 活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			アピールポイント
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2025/7/10	寝屋川市立三井小学校　水辺の安全　出前授業	寝屋川市立三井小学校	協力	89			1	できた	できた	1	1			●						●							○	●					[充実度]事前にアンケートをQRコードを印刷した状態で先生に配布。事後速やかに回収できた。[地域貢献度]自分の身は自分で守るを徹底して教えた。川は楽しいところだけれども注意が必要を体験できたと思う。
2	2025/7/16	枚方市立山田東小学校　水辺の安全　出前授業	枚方市立山田東小学校	協力	68			1	できた	できた	1	1			●						●								●					[充実度]事前にアンケートをQRコードを印刷した状態で先生に配布。事後速やかに回収できた。[地域貢献度]川は楽しいけれど、安全には十分に気をつけることを児童がアンケートに記載してくれていた。
3	2025/10/2	守口市立寺方南小学校　水辺の安全　出前授業　対象：小学6年生	守口市立寺方南小学校	協力	87			1	できた	できた	1	1			●						●							●	●					[充実度]事前にアンケートをQRコードを印刷した状態で先生に配布。事後速やかに回収できた。[地域貢献度]自分の身は自分で守るを徹底して教えた。川は楽しいところだけれども注意が必要を体験できたと思う。
4	2025/11/3	水辺の安全（十三）	十三干潟	主催	18				できた	できた	1	1		○	●						●							●	●					[充実度]アンケートをQRコードを印刷した状態で配布。事後速やかに回収できた。[地域貢献度]自分の身は自分で守るを徹底して教えた。川は楽しいところだけれども注意が必要を体験できたと思う。
5		各自治会への安全親水講習	大阪市内各自治会集会所																															防災学習会を考えていたが、小学校や、子ども食堂での経験を蓄積できた。横展開をしていきたい。
6		大阪市内小学校での着衣水泳	大阪市内小学校																															他の地域での出前授業が入ったため、大阪市内では、次年度の予約をもらうにとどまった。

氏名	辻川　松子	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	福島出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
リバーウォッチャー「淀川探検」	次代を担うこどもたちが自分のまちに、豊かな自然があることを伝えます。 体験学習を通して干潟に住む多様な動植物とふれあい、自然と共に生きる力と豊かな心をはぐくむことを願い実施いたします。
干潟自然学習会	十三干潟を媒体にして、干潟に住む多様な動植物とふれあい、近年の課題（SDG)である海洋プラスチックと水環境について学ぶ。更に、自然環境保護に繋げる為に水質調査を行う。また、頻繁に起こる災害と「自らの命は自らが守る」行動について学ぶ。
大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P-１	～安心・安全のまちづくりをめざして～ ＝減災に向けて「川と寄り添うまちの自然災害を考える」＝
大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P-2	～安心・安全のまちづくりをめざして～ ＝減災に向けて「川と寄り添うまちの自然災害を考える」＝
大阪市立十三中学校「わがまち防災スクール」P-1	次世代の育成を基に　災害時の危機管理の啓発と知識の習得
大阪市立十三中学校「わがまち防災スクール」P-2	災害時の危機管理の啓発と知識・技術の習得及び体験を通して次世代の育成を図る
大阪市立宮原中学校「わがまち防災スクール」	～安心・安全なまちづくりをめざして～ ＝減災に向けて「川と寄り添うまちの自然災害を考える」＝
野中防災フェスタ	もしか！の災害を見据え、防災意識の向上と安心・安全なまちづくりを基にした地域の治安度を高める活動。
■淀川水系一斉美化アクション■ 淀川右岸クリーン大作戦　淀川	河川敷清掃を通してＳＤＧＳ【持続可能な開発目標】である 「 6.安全な水　11.住み続けられるまちづくり　14.海の豊かさを守る　15.陸の豊かさを守る」の４項の目標を基に美化活動を行う。

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	こどもたちの豊かな感性を育てると共に、体験を通して都会の宝庫　淀川の自然環境の保全と災害時におきる危機意識を育て、次代の担い手づくりに繋げる。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	異常気象で開催できない事業がある中で、こどもたちが自然に触れる機会が少なくなる現状があります。 旬の事業を如何に開催し、こどものドキドキ感を育むことが出来るまた、季節に合った様々な体験の場をどの様に開催していくかが大きな課題と考えている。 河川レンジャーの活動理念は「川と人をつなぐ」特にこどもへのアプローチは大事と考える。 今後においては開催時期等を十分に考慮し、一人でも多くのこどもたちへ「淀川」の魅力を発信出来たらと考える。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野(活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2025/6/26	リバーウォッチャー「淀川探検」	十三干潟	主催	40			1				3	○	●	○			○	●	○	○		○	●	○	○	○	○	○	●				[充実度]　プログラムの変更で保護者の参加が少なくなるものの、事前に学校通信等で保護者への協力募集を行うなど、授業の充実に向けてCRと学校が連携した取り組みができました。[定着度]　今回の授業で止まらず、翌日には平成18年に作成した「スタートとマナビィの淀川探検」を振り返り授業として、朝の読み聞かせ時間を活用して演じることが出来ました。[地域貢献度]　学校のホームページを活用して、4年生「自然学習会」の授業報告が、全児童の保護者へのアプローチに繋がっていると考えます。
2	2025/11/14	大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P-１	大阪市立新北野中学校	主催	205			1	できた	できた	3	3	●							●				●										[充実度]　防災意識の高揚を図るために、中学生の心に響く授業の持ちかたの工夫と検証を行う。中学生が解りやすいと感じる講座を進める。[定着度]平成18年から初めた当事業は、その年の状況に合わせた学習内容で継続できている。また、事業の特異性から学校と連携して長寿事業になっている。
3	2025/11/21	大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P-2	大阪市立新北野中学校	主催	229	2		1				3	●					○					●		●									[充実度]青少年健全育成を旨として活動を行う新北野中学校下更生保護女性会のメンバー構成や区・社会福祉協議会の協力により、活動の充実度が高く、学校から信頼された活動になっている。[定着度]　地域や企業更に関係所管の協力と支援により、授業として定着度は高く、学校のニーズに沿った授業展開で、継続した長寿活動になっている。
4	2026/1/13	大阪市立十三中学校「わがまち防災スクール」P-1	大阪市立十三中学校	主催	166			1				3	●					○	●		○							●						[充実度]授業の内容が生徒の「気づき」につながるとともに、新しい災害事案と歴史的災害事案を複合させ自らの命は自分で守る「自助」と、ともに助け合う「共助」について意識の構築を図る[地域貢献度]川に寄り添い暮らす受講者に、地域の担い手の育成を視野に入れ、防災訓練等の行事に積極的参加することを促す。
5	2026/1/16	大阪市立十三中学校「わがまち防災スクール」P-2	大阪市立十三中学校	主催	177	2		1	できた	できた	3	3	●					○			○		●		●									[充実度]　当事業は学校との信頼度も高く充実した活動を進めることが出来ている。また、青少年健全育成を旨として活動を行う十三中学校下更生保護女性会メンバーや区・社会福祉協議会の協力により、活動の充実度が高く信頼された活動になっている。[定着度]　地域青少年育成団体や関係所管の協力により、意義のある授業として定着している。
6	2026/2/7	野中防災フェスタ	大阪市立野中小学校	協力	64							3	●							●	○				●				●						[充実度]今回、地域事情とインフルエンザ流行で参加者が少ないものの、防災」をキーワードに事業のストーリを作り、照明車を軸にして充実した事業になりました。[定着度]野中地域活動協議会と連携した事業であることから、多くの協力を得ることが出来ました。[地域貢献度]河川事務所の説明で「淀川の災害」について知ることが出来た
7	2026/3/7	■淀川水系一斉美化アクション■ 淀川右岸クリーン大作戦　淀川	西中島河川公園～新十三大橋付近																														
8	2025/6/28	干潟自然学習会	淀川河川敷と十三干潟																														熱中症アラート発表によりとりやめ
9	2026/1/29	大阪市立宮原中学校「わがまち防災スクール」	大阪市立宮原中学校	主催																													対象学年がインフルエンザ流行で学級閉鎖に伴い中止になる。

氏名	西岡　和昭	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	福島出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
木川南小学校　干潟探検	川の楽しみ・川の生き物・水のありがたさ・川の危険な場所などを教え 将来河川を大切にする大人になってもらいたい。

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　〇：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															アピールポイント
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2025/6/27	木川南小学校　干潟探検	十三干潟	共催	39		1	1				3		●		●				●				●	○			●						[充実度]小さい頃から川への想いを取り込める活動だと思います。魚とりやカニとの出会いで河川の生き物に興味を持ってもらえると思います。 [定着度]小学校の協力がなければ出来ない活動ですが、学校側もこの活動を支援してくれてます。

氏名	亀井　伸幸	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	福島出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
大阪北区ジシン本講座「大規模災害時の備えと心構え」	大阪北区ジシン本防災講座内のプログラムとっして、参加者（大阪市民）に、大災害時の備え、水害に関する啓発を行う。 淀川河川事務所の防災に関する取り組みの紹介や、河川レンジャー活動の紹介を行い、参加者に理解と興味を深めてもらう。

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	「逃げ遅れゼロを目指して」 今年度も地域・行政より防災啓発の講師依頼や相談を複数いただいた。原点に立ち返り、水害の恐怖と早期避難の重要性を強く伝える講座「水害の備えと心構え」を実施。水害時に実際に起こり得る事象や避難の判断基準、日頃からの備えについて、映像や図解を用いて具体的に解説した。さらにニュージェック様と連携し、ジオラマを活用した水害シミュレーションを導入。浸水の広がりや危険性を視覚的・体感的に理解できる構成とし、早期避難の必要性を広く啓発した。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	2020年度以降、活動内容や在り方は大きく変化している。下流域では淀川大堰閘門や十三船着場が完成し、大阪・関西万博の開催など、淀川の魅力発信や来訪者増加の好機を迎えた。一方で、万博期間中の淀川本川利用は試験的・限定的にとどまり、十分な活用には至らなかった。こうした状況を踏まえ、今後は大堰下流域におけるフィールドワーク等を積極的に展開し、川を「見せ、伝える」活動を強化することが重要である。環境、河川利用、防災を含め、淀川の実情に即した発信が期待される。そのため、これまで培ってきた行政・地域との連携やノウハウを継承し、現役レンジャーのさらなる活躍につなげていきたい。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野(活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		アピールポイント
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度						
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮			
1	2025/8/6	大阪北区ジシン本講座「大規模災害時の備えと心構え」	大阪市立男女共同参画センター：クレオ大阪子育て館講習室	共催	40	4	1		普通	できた		2	●						○	●	○		○						○			○					[充実度]今年は春先からの連日の猛暑で、異常気象、気象変遷について考えさせられることが多く、水害に特化した講座の企画と運営を行なった。ジオラマや映像、そして実演と、とにかくわかりやすく、親しみやすい内容で、参加者に、考えてもらうことができたと思う

氏名	桑村　和男	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	福島出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
毛馬出張所・淀川大堰閘門見学	大阪高齢者大学校「自然現象と減災・防災を学ぶ科」のメンバーで、防災施設・災害碑の見学をして、防災対応を学んでいる 今回、毛馬出張所を見学して、大阪市内の河川の台風・大雨時の洪水・高潮対応の施設の役割を理解してもらう。及び新しく開通した淀川大堰の閘門を見学してもらって、その役割と淀川舟運について理解してもらう
淀商業高校「チャレンジキャンプ２５」	（昨年より参加）高校生が自らイベント企画・運営することでﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ力育成/学校が地域ﾈｯﾄﾜｰｸ形成で地域の課題解決・振興 これに協力して①河川レンジャー活動紹介②小学生に淀川の環境を説明③高校生と今後のレンジャー活動の協力拡大を行っていく
淀川環境美化・西淀川親子ハゼ釣り大会	（主催者）西淀川区の環境美化活動事業の取組の一環として、淀川の環境と自然生態系を学ぶ機会として、SDGsの観点を取り入れながら、色々な手法により子供たちへの環境保全意識の向上を図ることを目的として実施する ⇒主催の西淀川区役所地域支援課早川係長より「淀川について」説明の要請があり、淀川河川レンジャーの紹介も兼ねて活動を実施する
西淀川区民まつり	年1回の区民祭りに出展して、淀川河川事務所の施策・取組及び河川レンジャーの活動を紹介し地域住民へ情報発信 行政や関係機関の人と繋がりを構築していく

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	レンジャーアドバイザー1年目の活動を進めています。地元大阪市西淀川区を中心に活動を展開しました。地元の高校生とコラボして夏休みの子供達へのイベントでヨシ笛つくり２年目の活動。今回初めて西淀川区役所主催の淀川河川敷ハゼ釣り大会で淀川の自然環境を説明紹介（区役所より依頼）今年で３年目になる西淀川区民祭りブース出展。淀川大堰の閘門開通－淀川の舟運の取組についてパネル紹介した。３月には、２つの活動を予定している。西淀川防災フェア（にしよど防災エキスポ）に３年越しのチャレンジで初めて参加、浸水歩行体験を行う。もう一つが２年目になる淀川河川敷での桜祭りでの活動です。河川敷での桜祭りは地元のまちおこしの取組として西淀川の宝の「淀川河川敷」を地元住民に知ってもらって、盛り上げていこうという祭りで一昨年から開催している。地元西淀川でレンジャー活動を通して淀川を知ってもらうことに注力して進めています。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	レンジャーアドバイザーとなり、レンジャー活動費がでないため、継続的な活動を進めていくにあたり、無理のない運営方法の検討が必要と考えます。 課題として、レンジャー事務局の協力体制です。一番の負担は、種々の書類作成です。レンジャー時代と全く変わりません。負担の低減をお願いしたい。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
									1）計画達成状況	2）課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		
1	2025/8/8	淀商業高校「チャレンジキャンプ２５」	大阪府立淀商業高等学校	協力	48			1	できた	できた	1	1		●	○				●				○	●			●										[充実度]子どもさんがヨシ笛つくりに参加できるように、事前準備を行ったので、スムーズに対応ができた スタッフ　レンジャー、川づくりパートナー多数協力してもらった[定着度]地元高校からの協力要請で、昨年に続き活動[地域貢献度]ヨシ笛つくりを通して、淀川河川敷の自然環境を知ってもらった
2	2025/9/27	淀川環境美化・西淀川親子ハゼ釣り大会	淀川河川敷（淀川大橋北詰上流）	協力	98	5	2		できた	できた	1	1		●		○			●				○	●	○	○	●										[充実度]課題：レンジャー活動の地域での周知拡大一今回は区役所から淀川のイベントへの協力要請がきたので、活動を実施した[定着度]今回初めて、区役所からの協力要請を受けて、行った[地域貢献度]環境学習ヨシついて　を説明紹介して、ヨシについて知ってもらえた
3	2025/11/9	西淀川区民まつり	西淀公園（西淀川区大和田１丁目）	協力	38				できた	できた	1	1		●			○							○	●			●				●						[定着度]西淀川区民祭り実行委員会から参加要請をうけて開催３回目である[地域貢献度]・子どもさんから「バッタのオリンピックに参加したい」多数あり ・淀川舟運利用したい[河川事業貢献度] ・淀川舟運利用したい
4	2026/3/21	にしよど防災エキスポ2026ブース出展	西淀川区役所	協力																																	
5	2026/3/29	にしよどがわシーサイド桜まつり2026	淀川河川敷（西島水門下流）	協力																																	
5	2025/6/18	毛馬出張所・淀川大堰閘門見学	毛馬出張所施設・淀川大堰閘門、毛馬公園	主催																																	施設が見学不可となったため、とりやめ

氏名	伊藤　茂	区分	特例再任（2期1年目）	所属	毛馬出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

地域住民に淀川の四季、自然や美しさ楽しさを再発見させる。
また防災や危機管理などの意識づけや水辺の安全教育も子どもから保護者へまたは、大人から子どもへ自然体験活動を通じて学んでもらう。
自然体験活動を通じて地域住民の川に対する関心を深め防災及び環境についても共通認識を向上させる。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期		特例1期		特例2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
Step1 地域住民の関心を高める	遊びや体験を通じて淀川の自然を学ぶ。	地域イベントへの出展、自然体験・観察会および近隣小学校への出前授業等	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	自然体験活動を通じて流域住民の皆様が防災の共通意識を高め地域団体や活動団体などの連携を強化活用し相互協力体制の構築を目指す。	区行政と連携し地域に即した水害防災の為の備えや近隣の河川構造物の役割を知らしめ理解してもらう。			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	水辺や河原の保全・再生や身近な自然を楽しめる川にする為、川とまちが一体となった河川整備を実施できるよう地域住民と行政とのパイプ役になる。	地域住民・地域団体・行政区との協働で環境に適した住民の希望や意見の入った新しい鳥飼地区河川環境整備の取り組みを行う。					⇒	⇒	⇒	⇒	

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	淀川の自然体験から防災・環境保全の分野まで、偏りなく活動してきました。 どの活動も予定人員を上回る参加があり、好評でした。 地域との関係性もできてきたことから、今回初めて長期間の取組みに挑戦しました。 区役所内での淀川生き物展示を8日間実施し、多くの方にご覧いただきました。 真夏の展示で管理に工夫が必要な場面もありましたが、毎日足を運んでくださる方もおられ、やりがいのある取組みとなりました。 終了後には「次はいつ開催するのか」といったお問い合わせも多く寄せられたと伺っています。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	レンジャー活動もあと1年となってまいりました。活動の継承準備や活動の意義など後輩レンジャーに受け継いで行きたいと思います。 レンジャーアドバイザーになってもやれることはたくさんあります。今回の実施報告には入っていませんが鳥飼ワンド整備なども摂津市はじめ大学生や建設技術研究所の方々と一緒に活動し、おもに外来種植物駆除など今期5回ほど活動してきました。未来のワンドの環境保全もレンジャー活動でＳＴＥＰ3を目指して行政と地域住民を交えて考えていきたいと思います。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動（理由をアピールポイント欄に記載）、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野																					取り組み内容
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															アピールポイント
									1) 計画達成状況	2) 課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度				地域への貢献度			河川事業への貢献度								
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮					
1	2025/4/26	淀川大堰と魚道見学	毛馬閘門、淀川大堰、毛馬排水機場	主催	24				できた	できた	1	1	○	●						○				○										[定着度]地域の小学校の校長先生や教師、保護者の皆様にご興味をもたれています。口コミもございますが一瞬で枠は埋まりました。防災の件で別に相談もありました。
2	2025/7/29～8/5	淀川の生き物展示	大阪市都島区役所	主催	222				できた	できた	1	1		●						○				○										[充実度]展示している魚の名前を貼りだして、変わった名前も覚えながら見てもらった。[定着度]区役所の方々や図書館、区民センターの方には大変お世話になりました。生き物を展示するのが初めてなので色々協力してもらえました。
3	2025/9/27	都島区民祭出展	毛馬桜ノ宮公園	共催	378				できた	できた	1	1		●		○				●				○										[充実度]展示している魚の名前を貼りだして、変わった名前も覚えながら見てもらって、カメなどを優しく触って親しみを持ってもらった。[定着度]区役所の方々には大変お世話になりました。生き物を展示ふれあいなどは都島区の自然を知ってもらえる機会なので是非是非やってほしいと言われました。
4	2025/10/24	企業清掃プロジェクト支援	淀川河川公園西中島地区	協力	29				できた	できた	1	1				●				●				○						○				[充実度]川ゴミの中のプラ製品の数や枚数を数え報告までされていました。
5	2025/11/22	淀川小学校4年生(あそぼうさい)　校外学習会	毛馬地区（出張所敷地内、毛馬閘門ほか）	共催	49			1	できた	普通	2	1	●								○			○						○				[定着度]近隣地域の方々の要望を抽出して防災をテーマに決めて体験や見学を実施できた事がよかった。
6	2026/3/7	■淀川水系一斉美化アクション■ 淀川大川クリーン大作戦	淀川河川公園赤川地区～菅原城北大橋	主催																														
7	2025/6	赤川ワンド生き物調査会	赤川ワンド	主催																														とりやめ

氏名	岸田　俊徳	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	毛馬出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

「近隣住民を含む多くの人々に対し水辺への興味度を上げます。」
水辺は楽しいことがなんでも出来るイメージがあるが実は危険な個所が多く、また、見るからにきたない箇所や一部の河川利用常連者（釣り、ラジコン、非動力船）などが幼い子供を持つ親子などに不安を与えることが多いのも今の状況です。
誰もが楽しく憩える場所づくりを5年かけて行いたいと思っています。水辺への興味こそが水辺を知る原動力になり、河川で遊ぶだけでなく生態系や防災への興味、緩やかな水辺利用ルールに繋がっていくと考えています。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	水辺をみんなで知る。 ・地域住民や今まで河川に興味がなかった人たちに河川の魅力を伝える	①淀川探検隊 ※生物や植物の採集を通じ現状を把握 7月／淀川右岸塚本地区 10月／此花区民まつり	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		②地域団体の淀川調査 10月／ガールスカウトとの共催 ※淀川の河川利用と生き物の生態を体験 ※河川管理施設の役割を地域住民に知ってもらう ※緊急船着場や排水機場の役割を学ぶ	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		③清掃活動と淀川の学習 ※淀川を楽しむための清掃と学び 6月／此花区団体との共催 9月／一般団体との共催 11月／淀川清流高校との共催 サカタインクス㈱への協力		⇒	⇒	⇒	⇒
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	水辺を誰かに伝える。 ・地域住民などと河川の魅力を共有し、輪を広げる	◆清掃活動 ※淀川の清掃を通じて魅力を共有する 7月／淀川河川公園センターとの共催 **2026年2月／淀川一斉美化アクション**		⇒	⇒	⇒	⇒
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	水辺の使い方を提案実施する。 ・関係者と意見交換会 ・地域住民などと勉強会 ・安全で自由な河川利用を提案	◆淀川探検隊 **2026年3月／淀川デイキャンプ** ※ヨシのワークショップと意見交換会			⇒	⇒	⇒

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	淀川の河川整備計画に基づいた治水・利水の現状を参加者含め広く広めることを目的に活動を行った。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	治水・利水のみのアプローチは、興味を持って参加される方が少なく、生物採集や清掃活動などの活動を入り口に活動を行った。 今後は、河川整備計画のキーワードを用い、淀川をより身近に感じていただける告知を行いたい。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野(活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
									1) 計画達成状況	2) 課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		
1	2025/6/15	淀川左岸伝法エリア清掃活	淀川左岸伝法エリア（新伝法大橋～伝法漁協）	協力	54				できた	できた	1	1				●	○			○			●	●	○	○	○	○	○	●						[充実度]淀川での活動に興味を持つ団体からの相談が増えている。ミニ講座の内容を、できるだけ分かりやすく行っていることが要因であると感じる。[定着度]淀川の魅力を伝える伝道師的な立ち位置で清掃活動を行うことが、スタンダードに望まれている。[地域貢献度]季節や時間によって変化する淀川の魅力を、都度、分かりやすく紹介し興味を向上させている。
2	2025/7/26	淀川名人養成講座2025　淀川探検隊①	淀川右岸塚本地区（JR神戸線高架下）	主催	16	1			できた	できた	1	1		●		○						○	●			○	●	○		●						[充実度]レンジャー活動を通じて、出会い、相談を受けた団体との活動であった。次回の依頼もあり、多様化し続けていると感じる。[定着度]チラシの作成や他団体との連携により、今までより多くの方に、レンジャー活動の認知をいただいていると感じる。[地域貢献度]生き物だけでなく、淀川が出てくる昔話についてのナゾナゾでも興味を引く事が出来た。 伸びしろはまだ大きいと感じる。
3	2025/7/26	干潟での水生生物の観察会	淀川右岸十三野草地区	共催	29				できた	できた	1	2		●					○	●	○	○	○	●	○	○	○	●								[充実度]生き物の展示だけでなく、事前の準備と多様な採取方法をみせることで、水辺への興味の底上げになったと感じる。[定着度]淀川河川公園センターからの依頼でもあり、地元住民のニーズに応える活動であると感じる。[地域貢献度]採集した生き物を自宅で飼いたいと育て方を聞く家族も数組あった。
4	2025/9/21	淀川名人養成講座　番外①	淀川河川公園 長柄河畔地区／毛馬出張所	主催	11	1		1	できた	普通	1	1	●			○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●		○	●				●		[充実度]団体や学校と連携することで、ニーズを理解し、清掃を行いながら治水施設見学という新たな活動手法が生まれた。参加団体同士の連携も深まりつつあり、参加団体の多様化を感じる。 [定着度]清掃活動と河川ガイドをあわせた活動は、地域団体からもニーズがあり、依頼が増加している。[地域貢献度]清掃活動にあわせたゴミのリデュースについて考える時間を活動内で持つことにしている。[河川事業貢献度]毛馬施設や治水に、これから興味を持つ層にへのアプローチを活動で行っている。今後には期待できると感じる。
5	2025/10/26	第51回このはな区民まつりブース出展	西九条コミュニティ広場	協力	157	1			できた	普通	1	1		●			○		●			○	●				●						●		[充実度]レクチャーと体験をミックスすることで、参加者に「感じる時間」だけでなく「知る時間」を提供することができた。[定着度]区民祭りに参加することで行政や区民団体と交流が広がった。 今後、今以上のニーズをお受けすることになると感じる。[地域貢献度]活動に参加いただいた近隣住民を含む方々は、淀川自体に興味がない方も多かったが、生活の身近に存在することを理解いただけたと感じる。[河川事業貢献度]水害などを防ぐための様々な取り組みや施設があることを理解いただいたと感じる。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															アピールポイント
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
6	2025/11/7	環境美化ボランティア（河川敷清掃）	淀川河川公園　西中島地区、十三野草地区	協力	23				できた	できた	1	1	○	○		●			○	●			○	○		○			●				●	[充実度]活動依頼においては、内容に淀川の治水利水環境を意識できる解説の時間を取ることをお願いしている。 新規レンジャーも交え、レンジャーの自立も促している。[定着度]レンジャー事務局への依頼活動であり、企業の社会貢献の清掃活動であることから、近隣の参加者は募りにくいが、企業の意識を高め参加人数を増やしていくよう促した。[地域貢献度]今後も定期的に淀川沿いで清掃活動を行いたい旨、打診があった。クリーン作戦などへの呼びかけを行いたい。[河川事業貢献度]河川に繁茂する雑木が災害時にどのような悪影響をあたえる可能性があるかを解説。関心を促した。
7	2026/2/7	■淀川水系一斉美化アクション■ 淀川右岸クリーン大作戦（東淀川区）	淀川右岸　菅原城北大橋周辺	主催	55	2	1		できた	できた	2	2				●	○	○	○	○	○	○	●		●	○	○	○	●		○	○	●	[充実度]地域の企業からの参加が増加。近隣の高校には、クリーン作戦のチラシデザインを依頼し作成を行った。[定着度]地元からの参加者も安定。散歩がてらに清掃活動に参加する方も増加。[地域貢献度]清掃活動を通じて、「持ち帰れないものは、河川に持ち込まない。」を意識づけさせた。[河川事業貢献度]河川清掃を通じて、植物（環境）、水（利水）、災害（治水）について考える機会をもうけた。
8	2026/3/14	都島 Meets NATURE 2026(ブース出展)																																
9	2025/12	淀川名人養成講座2025　淀川探検隊②																																天候不良によりとりやめ
10	2025/10/5	ガールスカウトの淀川の生物調査と清掃活動																																天候不良によりとりやめ
11	2025/11/22	大阪府立淀川清流高等学校文化祭																																学生の準備が間に合わず、とりやめ

氏名	波戸　睦	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	毛馬出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

淀川は、自然環境、防災、文化・歴史、経済といった多方面で重要な役割を果たしており、地域住民の生活と密接に関わっています。特に毛馬管内においては都市部という立地ではあるが淀川を中心とした豊かな自然と多様な生態系が存在している。毛馬管内での清掃活動や観察会を通じて河川環境の課題を考え、生物や植物、季節の変化などを体験しその魅力を感じ取ってもらう。また、こうしたレンジャー活動を通した関わりの中で地域住民や利用者の安全を守るため、水難事故防止に向けた取り組みを考えます。（水路、ワンドに対する危険意識やルールを考える。）
淀川が育む生態系や人との関わりを感じてもらい淀川に関心を持ってもらい、里山と海をつなぐ淀川の役割についても考察しながら河川環境の保全とともに、地域住民の意識向上や自然との共生を目指した取り組みを行う。

1.2活動の目標目的を達成するための段階ごとの目標とそれを達成する手段(活動内容)を記載⇒で目標達成までの期間を入力

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	淀川河川公園内（毛馬管内）の水路・入江の清掃活動を通して淀川の環境保全や危険エリアの共有及び生態系について理解を深め、一緒に取り組んでもらえる協力者を見つけることを目指します。	水路、入江でのゴミ収集・外来生物の除去により水路保全（危険エリアの把握）、景観の向上及び生態系の保全を推進。	⇒	⇒			
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む							
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築							

3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	R7年度の活動全体についてはレンジャーの活動に積極的に参加（40企画）、事務局主催の企画についても淀川発見講座、ふれあい土木展にスタッフとして参加、個人企画としても8/10企画（3月末予定）の実施。淀川上流域から下流域まで先輩レンジャーの取り組みを現場で見る、スタッフとして活動することで淀川の課題や河川レンジャーとして考え方に付いてのベースを身につけることが出来た。期初に計画した赤川ワンドでの活動については予定していた10月実施に向けた事前段階の8月にはワンド内の環境が自身のスキルで対応ができない程、外来植物で覆われており実施困難と判断致しました。クリーンアップにつについては鳥飼ワンドで実施する流れとなっております。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	■10企画中8企画を実施できたが、残りの企画は未達成であった。 改善点：①企画の難易度や必要リソースを事前に精査する。 ②実施可能性を高めるため、代替案や予備日を設定。 ③他レンジャーや事務局との協力体制を強化。 ④毛馬管内の課題理解を深めていく ■上流域から下流域まで現場を見て基礎は身についてきたが、毛馬管内課題解決に向けた具体的な提案力が不足。 改善点：①毛馬管内（鳥飼地域）の課題を整理し、課題解決に向けたアイデアを企画に反映。 ■外来種への対応力不足 赤川ワンドでの活動が外来植物の繁茂により中止となった。 ⇒事前調査や除去作業のスキル不足に付いての知識、準備が課題。 改善点：①外来植物の種類や繁殖特性に関する知識を深める。 ②除去作業の技術習得や、専門家・地域住民との連携を模索。 ③実施前の現地確認を計画段階で強化していく必要性。

2. 活動計画と実施結果凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野●：主たる貢献分野〇：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																					アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																					
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度									
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮						
1	2025/8/6	こども食堂で防災授業マイタイムラインを作ろう	森ノ宮UR第2団地８号棟第二集会場	協力	24	1			できた	できた	1	1	●						●										●											[充実度]子ども（幼稚園～小学３年生くらい）を対象に、防災について分かりやすく伝えるため、講座中に河川財団のアニメや２つの作業活動を取り入れました。子どもたちの集中力や興味が途切れないよう工夫し、一方通行にならないように意識して授業を進めました。[地域貢献度]これまで防災について考える機会が少なかった参加者も、ハザードマップで自宅周辺の浸水リスクを初めて知り、川の危険性や日頃からの備えの大切さを実感したという声がありました。また、防災バッグの中身を学ぶことで、何を準備すべきかイメージでき、子どもとの会話をきっかけに家族で防災について話し合う場面も生まれました。こうした意識や行動の変化を促すため、地域のリスクを可視化する資料や、子どもが体験できるシールを使った防災バッグのシミュレーション、実物を使った防災バッグの紹介など、参加者が自分ごととして捉えられる工夫を行いました。
2	2025/8/20	こども食堂で防災授業マイタイムラインを作ろう	森ノ宮UR第2団地８号棟第二集会場	協力	44				できた	できた	1	1	●							●									●											[充実度]本題へのスムーズな導入が課題であり且つ子供達（幼稚園～小学３年生位）を相手に防災について興味を持って聞いてもらえるような工夫として水難ゲーム、防災アニメ（河川財団）、作業（２点）を取り入れながらできるだけ一方通行にならないよう授業を展開するよう取り組んだ。[地域貢献度]前回同様、これまで防災について考える機会が少なかった参加者も、ハザードマップで自宅周辺の浸水リスクを初めて知り、川の危険性や日頃からの備えの大切さを実感したという声がありました。また、防災バッグの中身を学ぶことで、何を準備すべきかイメージでき、子どもとの会話をきっかけに家族で防災について話し合う場面も生まれました。こうした意識や行動の変化を促すため、地域のリスクを可視化する資料や、子どもが体験できるシールを使った防災バッグのシミュレーション、実物を使った防災バッグの紹介など、参加者が自分ごととして捉えられる工夫を行いました。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		
3	2025/9/2	門真市立第五中学校1年生防災学習	門真市立第五中学校	協力	141			1	できた	できた	1	1	●						●					●					●							[充実度]実際に水害は起こり得るということを実感していただく工夫を考え、８月度に門真市で災害につながる豪雨が発生したデータをプログラムに組み込むことで、住んでいる街で水害（災害は）起こりうることを実感してもらえたのではないと考えています。[定着度]身近に水害を考えてもらえるよう寝屋川水系の河川整備計画、過去の災害事例をベースにすることで一方通行にならないよう授業を展開するよう心がけた。門真市の水害について理解が深まるよう構成を考えた。[地域貢献度]門真市が天井河川エリアであり災害が起きた際の影響についての理解が深まったと考えます。寝屋川・淀川についてみなおしてくれるキッカケとなったのではないかと考えます。
4	2025/9/26	マイ・タイムラインづくり（仮）	枚方市立蹉跎東小学校	協力	59			1	できた	できた	1	1	●						●										●							[充実度]45分間の授業で児童が飽きずに防災について考えられるよう、さだ東小学校の実情や、他校での質問・疑問も参考にしながらストーリーを構成しました。また、授業の要所要所で防災クイズや枚方市に関するクイズを取り入れることで、児童が主体的に参加できるよう工夫しました。[地域貢献度]今回の授業を通して、児童たちは防災に対する意識や行動について①避難場所の再確認と家族との話し合いの重要性②早めの準備や備蓄品への意識③災害時の行動の変化④情報収集や連絡の大切さ⑤自分の命を守る意識の向上等の声が上がってきている。淀川や今住んでる枚方市の話を取り入れ身近に水害感じて考えてもらえたのではないかと考える。
5	2025/11/18	出前授業	大阪市立関目東小学校	協力	110			2	できた		1	1	●						●																	[充実度]通常の授業では、1時間の枠内でハザードマップやマイ・タイムラインの作成を行い、そこで終了することが多いです。しかし、浸水地歩行を追加するこで、さらに体験的な学びが加わり、水害への備えの重要性や、自分にできることを実感してもらえたのではないかと考えます。
6	2026/1/18	茨木中津校区防災会浸水地歩行体験	茨木市立中津小学校	協力	226	2	3	1	できた	できた	1	1	●						●																	[充実度]浸水地歩行を経験できたといった事よりも、どういう状況に陥ったら浸水地歩行が必要なのか？大切なことは事前に避難して安全を確保しておくことが重要であるというプログラム（ハザードマップ⇒冠水パネル⇒体験⇒防災ミニブック）を組めたと考えます。
7	2026/2/23	■淀川水系一斉美化アクション■ 鳥飼ワンドクリーンアップ大作戦	鳥飼ワンド1～5号、鳥飼緊急用船着場																																

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		アピールポイント
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		
8	2026/3/29	シニアプラザ茨木自主防災会浸水地歩行体験	シニアプラザ茨木																																
9	2025/7/16	吹田市立岸部第二小学校水辺の安全出前授業	吹田市立岸部第二小学校																																当日、降雨天候不良の為、先方より連絡があり中止と判断致しました。
10		クリーンアップと生き物観察	淀川河川公園内（赤川地区・毛馬地区）水路・入江																																10月実施予定であったが赤川ワンド内の環境が8月度の下見時点において自身のスキルで対応ができない程、外来植物で覆われており実施困難と判断致しました。

氏名	道場　明子	区分	特例再任（１期1年目）	所属	枚方出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

①守口市を中心に、地域住民に淀川の魅力を発見し、ファンになってもらうきっかけづくりになるような、気軽に参加できる活動を行い、淀川への関心を高めるとともに、地域住民より「淀川の課題」の情報収集を行う。また、地域の要望に応じて講座を行う。
②守口市のコミュニティセンターや、自治会と連携し地域に密着した水防災講座や、シニア向けや小さいお子様がいる家族向け等、より身近な防災講座を行い、地区防災計画の推進につながる活動を行う。
③自転車利用者のマナー向上活動や、美化アクションを行い、あらゆる利用者が気持ちよく淀川を利用できる啓発活動を行う。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期		特例1期	
				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
Step1 地域住民の関心を高める	地域住民が、淀川に関心をもつ活動を行う。	①自転車の意見聴取 ②防災講座 ③バッタのオリンピック ④地域の要望に応じた講座、ブース展示（淀川やレンジャー活動紹介、工作等）	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	地域の自治体、住民団体と協力・連携した活動を行う。	①「自転車マナー向上」公園利用者や自転車利用者からアンケートや意見聴取を行いヒヤリハットマップを作成する。 ②美化アクション		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	地域の自治体・住民団体などが自主的に活動を行えるよう、これまで自身が取り組んできた活動を定着させる。	自転車のマナー向上：ヒヤリハットマップの更新や、歩行者と自転車利用者の意見交換、利用ルールに関する提案、住民によるマナーアップ活動等				⇒	⇒	⇒	

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	淀川河川敷における自転車と歩行者の安全で快適な利用を目指し、河川レンジャーとして現場に立ちながら地域住民・河川利用者の声を丁寧に収集している。危険箇所の見える化と実情に即した啓発により、安全意識向上のきっかけづくりを行い、今後の改善活動へつなぐ基盤を整備している。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	地域住民側の連携団体については現在調整中であり、守口市コミュニティ推進課へ相談を進めている段階である。また、河川利用者では美化活動団体やマラソングループとの交流は始まっているものの、意見交換会への具体的な参画には至っていない。今後は継続的な関係構築と参加機会の具体化が課題である。また、危険マップの広報については、河川公園内掲示板の活用を含め関係機関と調整を進める予定であるが、現時点では具体的な実施計画や体制整備には至っていない。今後は掲示場所の確保に加え、配布方法やデジタル発信の検討を行い、効果的かつ継続的な周知体制の構築を図る必要がある。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野(活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																アピールポイント
									1) 計画達成状況	2) 課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2025/5/10	自転車と歩行者に関する意見聴取	河川公園太子橋地区	主催	54				できた	普通	1	1			●				○		●										○			[充実度]【○改善点】前回何をやっているか掲示していたが通行人から見えにくかったので、立て看板を設置しわかりやすくした。【●参加者の声を聞く】通行人に意見聴取を行った。[河川事業貢献度]緊急用河川敷道路について、一般道路同様、歩行者右・自転車左と解釈している人がいる。通行人同士でトラブルとなるので、ルールを明確にしてほしいとの意見があった。
2	2025/5/18	守口市こどもまつり	大枝公園（守口市松下町3番地）	共催	671				できた	普通	1	1		●										●				○						[定着度]守口市こどもまつりは、今年度で57回目の開催であり、継続して参加できている。[地域貢献度]ヨシ笛の作成を通じて、ヨシの生態や淀川の環境や歴史を知ってもらうきっかけとなった。[河川事業貢献度]至らなかった
3	2025/7/19	自転車と歩行者に関する意見聴取	河川公園太子橋地区	主催	22				できた	できた	1	1			●				○		●										○			[充実度]【○改善点】質問内容を太子橋地区駐車場出入口付近にしぼって質問した。【●参加者の声を聞く】通行人に意見聴取を行った。[定着度]至らなかった。地域に協力を得られるよう取り組みたい。[地域貢献度]至らなかった。[河川事業貢献度]太子橋地区の駐車場出入口付近のヒヤリハットを意見聴取したが、聴取人数が少ない為、引き続き取り組んでいきたい。
4	2025/9/20	自転車と歩行者に関する意見聴取	河川公園太子橋地区	主催	85				できた	できた	1	1			●	○			○		●										○			[充実度]【○改善点】太子橋地区駐車場にも範囲を広げ、自動車利用者の意見聴取も行った。【●参加者の声を聞く】通行人に意見聴取を行った。[定着度]至らなかった。地域に協力を得られるよう継続的に実施したい。[地域貢献度]至らなかった。[河川事業貢献度]太子橋地区上流側のバイク止めで、20インチの電動アシスト自転車乗の立ち往生を頻繁に目にする。
5	2025/10/18	自転車と歩行者に関する意見聴取	河川公園太子橋地区	主催	44				できた	できた	1	1			●				○		●										○			[充実度]【○改善点】聴取表のレイアウトを改善したが、文字が小さく使いにくいので次回までに改定する【●参加者の声を聞く】通行人に意見聴取を行った。[定着度]至らなかった。引き続き、地域に協力を得られるよう継続的に実施したい。[地域貢献度]至らなかったが、翌日の城北ワンド活動の案内をした。[河川事業貢献度]利用者の意見聴取を行った。太子橋地区の駐車場出入口付近は、今回ヒヤリハット体験がある方は2名のみだった。
6	2025/11/29	自転車と歩行者に関する意見聴取	河川公園太子橋地区	主催	82				できた	できた	1	1			●				○		●										○			[充実度]【○改善点】意見内容に違いがあるかどうか、実施場所を変えて実施した。【●参加者の声を聞く】通行人に意見聴取を行った。
7	2025/12/3	NALC「天の川クラブ」水の防災講座	楠葉生涯学習市民センター	共催	23				できた	普通	1	1	●			○			●						○									[充実度]自分事に感じてもらえるよう、事務局にも協力いただき地形図などの説明資料を新たにつけ加えたが、伝わったかどうかは自信がない。[地域貢献度]至らなかった[河川事業貢献度]至らなかった
8	2025/12/13	自転車と歩行者に関する意見聴取	河川公園太子橋地区	主催	92				できた	普通	1	1			●	○					●													[充実度]【●参加者の声を聞く】通行人に意見聴取を行った。
9	2026/1/15	寝屋川市立図書館　防災講座「教訓から学ぶ防災」	寝屋川市立図書館	共催	21				できた	普通	1	1	●							●				○		○								[充実度]　講義＋個人ワークで内容を構成したが、参加者に自分事として取り組んでもらえるよう、個人ワークの時間を長めに設けた。また、今年度の土木展で沢山の方が体験された防災リュックを考えてみるワークを初めて取り入れた。

No.	実施状況 活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	連携団体数 市民団体等	行政機関	学校関係	達成状況 確認項目 1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	STEP 計画	結果	貢献分野 A 治水・防災	B 環境保全	C 河川利用	D 維持管理	E 歴史・文化	F 川づくり・人づくり	取り組み内容 確認項目 活動の充実度 ①	②	③	④	⑤	活動の定着度 ⑥	⑦	⑧	⑨	地域への貢献度 ⑩	⑪	⑫	河川事業への貢献度 ⑬	⑭	⑮	アピールポイント
10	2026/1/17	自転車と歩行者に関する意見聴取	河川公園太子橋地区	主催	75				できた	普通	1	1			●	○				○	●													[充実度]ヒヤリハット経験有は意見聴取73名中33名だった。9時～10時の通行が自転車113名・歩行者28名・ランナー61名・車バイク16台の計218。10時～11時の通行が、自転車89名・歩行者37名・ランナー64名・車バイク34台の計224。通行数合計442。
11	2026/2/21	自転車と歩行者に関する意見聴取	河川公園太子橋地区	主催																														
12		守口市立としょかんまつり	守口市立図書館	協力																														図書館の企画内容変更に伴いレンジャーへの依頼がなかったため、とりやめ
13		バッタのオリンピック	河川公園（八雲地区）	主催																														多忙のためとりやめ
14	2025/6/14	自転車と歩行者に関する意見聴取	河川公園太子橋地区	主催																														雨天中止
15	2026/3	■淀川水系一斉美化アクション■ 淀川京街道クリーン大作戦 守口八雲	河川公園（外島地区）	主催																														とりやめ

氏名	岡村　雅広	区分	河川レンジャー（1期目）	所属	枚方出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

淀川は関西地方ひいては日本の歴史に深く関り、地域住民はもちろん全国から関心を集める母なる川です。今年開催される大阪・関西万博に応じ新たな舟運利用も計画されています。また枚方市、交野市にまたがる交野が原は再開発計画が実行に移され新たな人々が暮らすエリアと注目されております。様々な歴史を重ねてきた淀川に地域のみなさんがさらに関わってもらいたく親水活動を企画します。なごめるエリアづくり、生物多様性対応を実感できるイベント、もちろん川の恐ろしさも伝えることで自然を畏れる大切さを伝えられればと思います。
枚方エリアには枚方公園、淀川資料館という人々が馴染みやすい施設がありこれまで以上に有効利用し、高齢化、少子化が問題となるなかそこにスポットをあてた川づくり、人づくりを目指します。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	「なごめる水辺づくり」を継続しながら参加者のみなさんとともに目指す姿に近づけていく。 地域住民の淀川への関心を高める	多自然池エリア環境保全活動＞水辺のごみ回収と草木整備。	⇒	⇒	⇒		
		歴史や防災をテーマとした出前講座や防災訓練への協力（地域の要望に応じて開催） 淀川資料館企画展と連携した「淀川をもっと知ろう」講座		⇒	⇒		
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	淀川河川公園枚方　多自然池エリアにおいて、住民が主体となり環境保全に組むことを目指す	観察会を通じて現状を知り、対策を練ったうえで外来種駆除活動を開始する。		⇒	⇒		
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	市役所の窓口である観光交流課とともに組織づくりを目指す。	枚方市「かわまちづくり」について住民とともに淀川を活かせる活動に取り組む。			⇒		

3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	・積極的に活動に取り組みました。分野につきましても維持管理、防災教育、歴史探索と幅広く取組み、水辺の学習（着衣水泳）も新たにチャレンジしました。 ・ふれあい土木展におきましてはグループのリーダーとして全体を見つつ担当ブース（川ゴミ）においても３年目として新たな取組をしました。 ・河川レンジャーの認知度を広めるために各方面へＰＲしており、その結果新たなレンジャーやパートナーが増えております。 ・枚方市においては夏休みに実施した教員向け防災授業から、小学校への出前授業が一気に増えて７校となり流域治水の考え方を子供たちに伝えるだけでなく、河川レンジャーの認知度を高めることに貢献しております。 ・試行期間から取り組んでいる淀川河川公園枚方多自然池エリアでの「なごめる水辺づくり」活動には毎回参加いただいている方々から継続参加を望まれる声が多く、淀川に親しめる活動となってきております。また枚方市職員もほぼ毎回参加されており、市と連携して実施する回もありました（具体的には５月１１日の活動）。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	・川に親しむことを伝えたいので、生き物調査や外来種生物の知識とスキルを向上させたい。⇒レンジャーを対象とした生き物調査研修会の実施。 ・河川レンジャーの知名度を広める活動をさらに深めたい。 ⇒ターゲットは「ふれあい土木展」の活用であり開催地周辺の小学校や企業に対してアプローチして行きたい。 ・小学校向けの防災授業の進め方は体得できてきているが、さらに内容を充実させていきたい。 ・「なごめる水辺づくり」活動を進めていくうえで、参加者の意見を河川事務所、枚方市へ伝えることから充実した活動を目指す。 ⇒定期的に打合せを実施しその進捗度合いを確認していく。 ・淀川発見講座、レンジャー養成講座の認知度を高め、レンジャーの輪を広めてゆきたい。 ⇒淀川流域、枚方市の企業、学校へのアプローチにチャレンジしたい。

2. 活動計画と実施結果凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野●：主たる貢献分野〇：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															アピールポイント
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2025/4/23	なごめる水辺づくり N0.18	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア	主催	17		1		できた	できた	1	1				●							●	●				○							[充実度]・河川財団から初めて参加いただき情報交換ができました。　・ピリカを通じて初の参加者がおられて今後の広がりも期待できそうです。　・毎回参加いただいている会社から初参加の方がおられました。[定着度]・枚方市の「川まちづくり」の一環として枚方市観光交流課の職員の方も参加いただき市としての要望も聞くことができました。[地域貢献度]・整備された多自然池エリアについて今後の利用について意見を求めました。
2	2025/5/11	枚方　多自然池エリア　美化アクション	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア　及び　天野川河口付近	主催	87	1	1		できた	できた	1	1				●			●					●				○							[充実度]・事前に川中のゴミを岸にあげておりスムースで安全に回収いただきました。 ・植物の成長は早く草刈り、枝払いの実施は不可欠でした。[定着度]・枚方市の「川まちづくり」の一環として枚方市観光交流課からも参加いただき参加者のみなさんへＰＲされました。[地域貢献度]・整備された多自然池エリアについて今後の利用について意見を求めました。
3	2025/5/26	大阪区民カレッジ　城東校　枚方の街　淀川を知る　防災学習	東海道枚方宿　　淀川資料館　枚方河川公園　中央流域センター	主催	44				できた	できた	1	1	●				○		●					●				○							[充実度]参加者の居住地がバラバラ（城東区住民は昨年１０名から４名へ減）なのでハザードマップの理解いただけるよう丁寧に説明しました。[定着度]３年連続して実施している活動で来年度の予約もいただきました。高齢者向けの活動が定着してきました。[地域貢献度]淀川資料館を利用することで改めて淀川を理解いただけました。[河川事業貢献度]該当はありません。
4	2025/5/28	なごめる水辺づくり№19　5月	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア	主催	12		1		できた	できた	1	1				●		●						●				●			○				[充実度]・この時期植物の成長が早く、草刈りを実施しることで活動エリアを確保しました。[定着度]枚方市役所からも参加いただいており、市としての取り組みや展望を聞く機会となりました。[地域貢献度]・毎月実施することで参加者からは社会貢献について充足感があるという意見を多く聞きます。[河川事業貢献度]・水質改善、環境改善の結果から川中でのゴミ拾いの要望が出てきました。
5	2025/6/25	なごめる水辺づくり N0.20	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア	主催	14		1		できた	できた	1	1				●		●						●				●							[充実度]・今回から中身入りのペットボトル、缶は産業廃棄物として別途分別することにしました。川の水質保全と参加者の安全確保が目的です。[定着度]枚方市と常々情報交換し川まちづくりの意向に即して実施しています。[地域貢献度]川ごみだけでなく自然についての説明を加え参加者に淀川を体感いただいております。
6	2025/7/7	淀川「川の総合学習」と水害について　小学4年生	枚方市立伊加賀小学校	協力	80			1	できた	できた	1	1	○					●	●					●				●							[充実度]クラス単位でなく学年全体で実施して時間を有効的に使えた。[定着度]小学校4年生の地域を知ることや防災について理解してもらえた。[地域貢献度]淀川の特徴や水、川の原理を伝えることができた。
7	2025/7/11	交野市立私市小学校　着衣水泳訓練　5年生	交野市立私市小学校	協力	82			1	できた	できた	1	1			●			●						●				●							[充実度]・スタッフとして参加したことで得た知識に自分なりにアレンジしたが、好評だった。（ポテトチップスでの浮き方、サンダルバイバイ、背浮きの時間比べほか）[定着度]交野市の小学校からの初めての要請でした。これを機に広めていきたいです。[地域貢献度]川の怖さも伝えることができたようだ。ライフジャケットの効果も伝えることができた。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果	A	B	C	D	E	F	活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
																			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
8	2025/7/15	門真市立第五中学校　2年生防災学習	門真市立第五中学校	協力	131			1	できた	できた	1	1	●						●					●				○						[充実度]・授業の理解度や意見について今回はタブレットからの回答としたので結果をよく掌握できるようになりました。[定着度]・学校側としては防災授業は何度受けてもよいと判断されていまいました。結果、生徒たちも良かったとの反応があり応えることができました。[地域貢献度]・水害についての理解度、避難先、避難行動、地域に対して何ができるかを考える機会になりました。
9	2025/8/24	中楠葉春秋会　防災学習	中樟葉集会所	協力	33				できた	できた	1	1	●						●						●				●						[充実度]防災学習と浸水地歩行のセットを要望されたので、成人向けの浸水地歩行についての説明を新たに付け加えました。[定着度]・先方の要請に対して応えることができました。[地域貢献度]・淀川に接しているエリアでハザードマップからも浸水深が深い事を理解いただきました。
10	2025/8/27	なごめる水辺づくり NO.21	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア	主催	15		1		できた	できた	1	1				●			○					●				○			○			[充実度]・整備後の植物の成鳥は著しく、想定外で今後の課題となりましたが、活動エリアを広げてゴミを拾いました。[定着度]・枚方市とタイアップして、今後のイベントについて参加者から意見をいただいております。[地域貢献度]・天野川河口まで活動範囲を広げることで参加者から初めて見ることができて良かったとの意見をいただきました。[河川事業貢献度]・夏の草刈り活動について提案をいただきましたので今後の課題と受け止めました。
11	2025/9/1	門真市立第五中学校　3年生防災学習	門真市立第五中学校	協力	132			1	できた	できた	1	1	●						●					●				○						[充実度]１週間前に体験したことを思い出していただき自分事としてとらえていただきました。[定着度]学校側からの要請を受け全校生徒を対象に実施できました。[地域貢献度]寝屋川、古川が崖錐氾濫したらどうなるかを認識してもらえました。
12	2025/9/6	枚方青年会議所　防災フェスタ	岡本町公園	協力	394				できた	できた	1	1	●						●					●				○						[充実度]・浸水地歩行体験に加え、初めて「備えるものチェックシート」を導入して災害に対し日ごろから備えておくことの大切さを理解いただけた。[定着度]・枚方青年会議所からの要望に応えて防災意識の向上を目指した。[地域貢献度]・枚方市の想定浸水状況をＣＧパネルで紹介し、川が氾濫した時のリスクを伝えた。
13	2025/9/12	枚方市立桜丘北小学校4年生出前授業	枚方市立桜丘北小学校	協力	53			1	できた	できた	1	1	●						●					●				○						[充実度]２時限連足で１コマ全学年合同授業にチャレンジしました。時間にゆとりがもてたことと備えることについて考えていただきました。[定着度]昨年につづいての防災学習でした。川の学習は川ゴミを中心に１１月に実施いたします。[地域貢献度]身近な場所で水害が起こる危険性を理解いただきました。
14	2025/9/22	枚方市立春日小学校　防災学習	枚方市立春日小学校	協力	80			1	できた	できた	1	1	●						●					●				●						[充実度]・１学年全員を１時限（４５分）でまとめることにチャレンジの授業となりました。[定着度]枚方市の教員研修を受けられた先生方からの要請に応えました。[地域貢献度]河川財団作成の「雨水のゆくえと地面のようす」の動画を通じて水と流域の様子を伝えることができました。
15	2025/9/23	多自然池の生き物から森と海の繋がりを知る	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア	協力	25	1	1		できた	できた	1	1		●					○						●			●						[定着度]川まちづくり協議会のメンバーから河川レンジャーに協力要請があり受けました。[地域貢献度]・４組８名の親子に対して関心を深めていただいた活動でした。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
16	2025/9/24	なごめる水辺づくり NO.22	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア	主催	24	1	1	1	できた	できた	1	1				●			○					●				○			○				[充実度]・整備後、ゴミの種類が変化してきたので川底に埋めれているビニルを引き揚げました。一部ナガエツルノゲイトウも引き揚げました。[定着度]・枚方市とタイアップして、今後のイベントについて参加者から意見をいただいております。[地域貢献度]・活動前に草刈りをしていただいたので多自然池の水際まで接近でき参加者もきれいとの声をいただきました。[河川事業貢献度]・夏の草刈りは河川管理者または公園管理者にしてほしいとの意見がありました。
17	2025/10/1	枚方宿・淀川　散策と防災学習 （対象：大阪府民カレッジひらかた校の生徒　）	枚方宿、淀川資料館、中央流域センター	協力	40	1			できた	できた	1	1	○				●			●				●				●							[充実度]・この講座までに京街道街歩きを体験した参加者に対して、説明内容が重複しないよう工夫した。具体的には、枚方、岡本町の地名の由来や参勤交代における本陣の裏話などを紹介した。[定着度]・高齢者向けの生涯学習講座の講師依頼があり対応した。[地域貢献度]淀川資料館や淀川沿いを歩くコースで淀川について理解を深めていただきました。
18	2025/10/17	枚方市立中宮小学校　防災学習	枚方市立中宮小学校	協力	83			1	できた	できた	1	1	●							●				○											[充実度]1時限45分で凝縮して教えるより2時限90分でゆっくり、理解度を見極めながら進めることができました。[定着度]枚方市内の小学生に対する防災に対する意識づけができました。
19	2025/10/21	枚方市立中宮小学校　防災学習Ⅱ　浸水地歩行体験	枚方市立中宮小学校	協力	82			1	できた	できた	1	1	●							●															[充実度]教室での学びと浸水地歩行を体験することでより災害に対して備える心構えを伝えることができた。
20	2025/10/30	防災学習並び浸水地歩行体験 対象：小学4年生	枚方市立伊加賀小学校	協力	81			1	できた	できた	1	1	●							●															[充実度]教室での学びと浸水地歩行を体験することでより災害に対して備える心構えを伝えることができた。
21	2025/11/7	枚方市立桜丘北小学校　4年生川の学習	天野川と藤田川の合流地点　浜橋付近（大阪府枚方市藤田町）	協力	53			1	できた	できた	1	1		●		○													●						[地域貢献度]・昨年に引き続き地元小学生に川への興味を持ってもらう機会となった。
22	2025/11/10	枚方市立田口山小学校　5年生防災学習	枚方市立田口山小学校	協力	70			1	できた	できた	1	1	●											●											[定着度]今年度、枚方市内の小学校防災学習は７校から要請を受け今回は５校目でした。
23	2025/11/22	令和7年度 枚方市総合防災訓練（ひこ防’z）	枚方市役所	協力	199	1	1	1	できた	できた	1	1	●							●				○											[充実度]・運営体制の見直しと新たな配布物でより来場者に防災意識を持ってもらえました。
24	2025/11/26	なごめる水辺づくり NO.24	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア	主催	18		1	1	できた	できた	1	1		○		●				●															[充実度]・ゴミの減少にともないゴミ拾いの他に取り組むべき内容を模索し取り組みを始めました。
25	2025/12/9	枚方市立樟葉西小学校　4年生防災学習	枚方市立樟葉西小学校	協力	63			1	できた	できた	1	1	●								●														[充実度]・授業をクラス別に実施せずまとめて2時限実施することで時間に余裕ができ児童の反応もよく判りました。
26	2025/12/12	枚方市立田口山小学校　5年生浸水地歩行体験授業	枚方市立田口山小学校	協力	70			1	できた	できた	1	1	●								●														[充実度]・近畿地方整備局技術事務所に最も近い小学校であり、来年度の「ふれあい土木展」においてレンジャーブースでの授業を提案し、前向きに検討いただけることになった。
27	2025/12/12	常翔啓光学園　天野川　クリーアップ活動	天野川　右岸　天津橋から上流方面	協力	24			1	できた	できた	1	1				●					●														[充実度]・1昨年の経験を活かしたスケジュール、エリア選定、アンケート実施など改善しました。
28	2025/12/15	枚方市立樟葉西小学校　4年生浸水地歩行体験授業	枚方市立樟葉西小学校	協力	63			1	できた	できた	1	1	●								●														[充実度]昨年は3日間実施しましたが今回は2日の実施。1時間目を合同、2時間目の浸水地歩行はクラスごととして時間の無駄なくまた効率的に伝えることができました。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度					
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		
29	2025/12/24	なごめる水辺づくり NO.25	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア	主催	16	3	1		できた	できた	1	1		○		●																			[定着度]第25回目の活動で今後も参加したいとの声を複数いただいており定着化してきている。
30	2026/1/19	枚方市立津田小学校　4年生防災学習	枚方市立津田小学校	協力	76			1	できた	できた	1	1	●						●																		[充実度]・事前打合せから授業内容を正確に伝え、津田小学校校区におけるハザードマップから浸水エリアについて伝えることができ、それをもとに備えることの大切さを理解してもらえました。
31	2026/1/25	枚方市立樟葉西小学校校区総合防災訓練	枚方市立樟葉西小学校校庭	協力	109人			1	できた	できた	1	1	●							●				●												[充実度]・今回初めて「備える物チェックシート」を参加者全員に配布した。[定着度]・恒例行事として地域の水害のリスクの高さを伝えることができた。
32	2026/2/1	■淀川水系一斉美化アクション■ 淀川水系一斉美化アクション京街道　枚方	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア　及び　天野川河口付近	主催	108	3	2		できた	できた	1	1				●		○	●																		[充実度]・シールによる簡単な川ゴミアンケートを実施し、参加者の川ゴミを減らすにはどうすればいいのか問いかけ美化の取り組みを提案した。
33	2026/2/25	なごめる水辺づくり NO.26																																		
34	2026/3/18	なごめる水辺づくり NO.27																																		
35		夏休み企画　淀川をもっと知ろう																																		他の活動に重点をおいたため準備不足となり中止した。
36	2025/6/9	常翔啓光学園　天野川　クリーンアップ活動	天野川右岸（天津橋から上流方面）	協力																																午後の降水確率が高く学校側から中止の連絡が入ったため中止した。
37	2025/10/22	なごめる水辺づくり NO.23	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア	主催																																活動時間の降水確率が高く中止することにした。

氏名	天野　康生	区分	河川レンジャー（1期目）	所属	枚方出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

庭窪ワンド周辺では、漂着ごみやごみのポイ捨てが見られ、景観・水辺利用の面などから課題と考える。このため、庭窪ワンド周辺への人の誘導が大切と考え、環境保全を活動のベースにしながら、人の往来が容易となる安全な動線と川について学ぶ場所を構築し、地域住民が気軽に訪れる場所に変えることで解決を目指す。
一方で、水辺の安全を確保することも重要であり、安全利用の啓発にも注意をはらう。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	庭窪ワンドの認知度向上と課題の吸い上げ。	庭窪ワンドを知る活動として、地域向けのイベント(散策、生き物、外来種の勉強会など)を行う。	⇒	⇒	⇒		
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	庭窪ワンドエリアにおいて、地域住民が気軽に訪れたくなるような“ビーチ化”を目指す。	人の往来が安全に行えるよう草刈りと樹木の剪定、および漂着ゴミの清掃活動を行う。		⇒	⇒		
		庭窪ワンドビーチ保全および啓発イベント				⇒	⇒
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	地域住民の庭窪ワンドへのニーズを把握・整理し、行政に改善要望として伝え実現を目指す。	活動参加者、地域住民との意見交換会を設定する		⇒	⇒	⇒	⇒
		守口市 環境下水道部、門真市 環境政策課への庭窪ワンドでの活動案内や結果、住民の声などのインプットを継続		⇒	⇒	⇒	⇒

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	庭窪ワンドは、大都市・大阪に残された貴重な生物多様性の宝庫です。 私たちの保全活動は、希少種を守り、外来種から環境を取り戻し、市民とともに未来の淀川を育てる“参加型の自然再生プロジェクト”です。 大学、企業、NPO、市民が協力する協働体制のもと、多世代・多主体が参加できる点も大きな魅力です。活動では、淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワークと連携し、 ・外来植物（例：オオバナミズキンバイ）の駆除 ・ワンド周辺のごみ拾い ・外来魚の駆除 など、生態系の健全性を損なう要因に直接アプローチする取り組みを継続しています。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	・地域・学校巻き込み（近隣の関わりが限定的） → 人材確保・世代継承の要め ・行政関与の拡大（実働は市民団体に依存） → ワンド整備の実行力を支える ・ワンド構造の改良（外来生物の侵入・繁茂、底質の悪化など） → イタセンパラ等が戻る“結果”として魅力向上 ・水辺の魅力づくり（ビーチのような整った水辺） → 市民参加を持続、行政・企業を巻き込みやすく

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動（理由をアピールポイント欄に記載）、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目 1) 計画達成状況	確認項目 2) 課題改善をふまえた取組	STEP 計画	STEP 結果	A 治水・防災	B 環境保全	C 河川利用	D 維持管理	E 歴史・文化	F 川づくり・人づくり	確認項目 活動の充実度 ①	②	③	④	⑤	活動の定着度 ⑥	⑦	⑧	⑨	地域への貢献度 ⑩	⑪	⑫	河川事業への貢献度 ⑬	⑭	⑮	アピールポイント
1	2025/5/25	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド	主催	29	1	1	3	普通	普通	1	1				●					●									○				[充実度]活動後、ゴミ調査を実施くださっている大阪商業大学メンバーとの意見交換会を実施。[地域貢献度]イタセンネットとの連携を継続。
2	2025/6/8	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド	主催	47	2	1	3	普通	普通	1	1				●					●									○				[充実度]活動後、ゴミ調査を実施くださっている大阪商業大学メンバーとの意見交換会を実施。[地域貢献度]イタセンネットとの連携を継続。
3	2025/7/13	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド	主催	36	2	1	4	普通	普通	1	1		○		●					●									○				[充実度]夏場の活動についてのヒアリングを実施。8月はレストセンターを活用し、今後の活動について意見交換会とすることをあらためて確認し同意いただいた。[地域貢献度]イタセンネット、地元企業などとの連携を継続。
4	2025/8/10	庭窪ワンド意見交換会	庭窪レストセンター	主催	9	2	1	2	できた	普通	1	1						●			●									○				[充実度]保全活動に長らくご貢献いただいている方々から今後の活動について意見をいただくことができた。[地域貢献度]イタセンネット、地元企業などとの連携を継続。
5	2025/9/14	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド	共催	38	7	1	4	普通	普通	1	1		○		●					●									○				[充実度]初参加の方へ、保全活動前に庭窪ワンドについて現場に案内しつつレクチャーを実施。[地域貢献度]イタセンネット、地元企業などとの連携を継続。
6	2025/9/25	うめきた朝ガク（河川レンジャー活動紹介と意見交換）	オンライン	協力	15				普通	普通	1	1						●			●									○				[充実度]河川レンジャーについて知らない方に、取組内容を共有し、共感いただくことができた。[地域貢献度]今回の接点をきっかけにして、活動の広がりを目指す。
7	2025/10/12	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド	共催	39	6	1	4	普通	普通	1	1		○		●					●									●				[充実度]活動中の休憩時などにワンドの整備について現場を見ながら意見交換を実施。[地域貢献度]イタセンネット、地元企業などとの連携を継続。
8	2026/2/8	■淀川水系一斉美化アクション■ 淀川京街道クリーン大作戦 庭窪	庭窪ワンド	主催																														
9	2025/4/13	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド	主催																														雨天中止
10	2025/11/9	庭窪ワンド保全活動	庭窪ワンド	共催																														雨天中止

氏名	上田　豪　　　玉井　理恵	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	枚方出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
点野みんなの水辺づくり　2025年4月～2026年3月	市民提案も取り入れ再整備された点野砂州、ワンド、淀川河川公園点野野草地区周辺の水辺利活用促進と市民が関わる維持管理の実践と提案をおこなう。 河川協力団体ねや川水辺クラブ、摂南大学との連携実績を活かし、さらに地域住民、団体、企業など参画のすそ野を広げ、人材育成につなげる。
淀川まるごと体験会・春	地域住民、公園利用者に、切り下げ整備された河川公園点野野草地区および、ワンド周辺の親水空間を紹介し、春の淀川を身近に感じてもらう。
淀川まるごと体験会・夏	再整備された水辺の利活用促進
茨田イチョウまつり	会場は樋門遺構を活かした公園づくりに市民協働でとりくんだ経緯もあり、川の文化を今に伝える史跡公園として知られています。地理的にも文化的にも河川公園と地域とを結ぶ要衝といえます。地域住民の方に河川公園の切り下げ整備について知っていただく機会とし、地域の団体、住民の交流の場とする
淀川京街道クリーン大作戦 点野	淀川流域一斉美化アクションの一環として、ワンド整備工事も完了した点野砂州・ワンド周辺において、地域住民、学校、団体などに呼びかけ河川利用促進とマナーアップのために清掃活動をおこないます。

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	単発でなく継続した取り組みであること。地域住民、地域で活動する団体、学校等と広く連携した取り組みであること。すべての活動がつながっていること。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	継続活動であるため、連携してきた団体などの構成に変化がある。特に初期に支えてくれた自域住民の方のが高齢化、すでに鬼籍に入られた方も少なくない。市民参加で取り組む川づくりの目に見える象徴的な成果でもある切り下げ整備の実現に至る経緯（メソッドとパッション）を次世代に引き継ぐこと。利活用促進と、市民が関わる維持管理の連携のすそ野を広げていくこと。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　〇：波及貢献分野(活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															アピールポイント
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2025/4/13	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催	21	1		1				3				○		●		●							●		●				●	[充実度]緑陰では、先月に引き続き移植したチガヤの生育を妨げるカラスノエンドウなどの抜根をおこなったが、先月手を入れたところの効果が見て取れたので、より意欲的に作業に取り組めた。[定着度]本日は、石田先生がゼミ生を連れて参加してくれた。[地域貢献度]初めての参加者が多いので、活動の経緯や整備工事、また、里川の植生復元プロジェクトとの連携について説明と現地見学会をおこなった。[河川事業貢献度]初参加の学生に感想を聞いたところ「地域の街づくりに貢献できた」との感想を聞くことができた。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目														アピールポイント
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
2	2025/4/27	淀川まるごと体験会・春	淀川河川公園点野野草地区、砂州、ワンド周辺	共催	74	5	2	1				3	●			○			●						●			●					●	[充実度]カヌーやEボートなど水辺体験プログラムを含む「淀川まるごと体験会」は夏季に実施してきました。多くの体験プログラムを全日実施していましたが、猛暑対策として午前中のみに圧縮開催委とするなど、情勢とニーズに応じ対応してきました。昨年、一昨年の課題の解決策として、水辺体験に特化した「淀川まるごと体験会・夏」と緑陰を活用したプログラム主体の「淀川まるごと体験会・春」の分割実施を試みた。[定着度]協力団体として地元企業である(株)YKベーキングカンパニーから菓子パンの提供と工場長挨拶があった。今後も協力・参画の意向を示された。[地域貢献度]冠水道路歩行体験や堤防決壊モデル実験、VRを用いた啓発など体験型の防災啓発をおこなった。また、会場でみられる草花を採取し即席でミニ植物展示をおこない、草笛などの遊びを大人も子どもも楽しんでもらえた。[河川事業貢献度]河川事務所主催のワークショップにおいて市民提案も踏まえた切り下げ工事を含む河川公園再整備が行われたこと、ワンド再生親水空間創出工事が行われたことの経緯をパネル展示した。活動の場としての緑陰整備や、水栓やトイレの設置について好意的な意見が聞かれた。駐輪設備については、使えないとの意見も聞かれた。
3	2025/5/11	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催	7	1		1				3		○				●		●								●						[充実度]昨年の経験をもとに、ヒシの駆除に早めに着手した。[地域貢献度]先月まで確認されていなかった外来植物がみられたが、分布の経緯路を先月まで水位が高かったため、増水時に流れ着いたもの流路に沿い分布を広げていることが、推測できた。
4	2025/6/8	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催	4	1						3		○				●		●											●			[充実度]先月に引き続き、セイタカヨシ、オギの生育を阻害する植物の抜根。刈り払い機を入れずに、手作業で選択的に草刈り、抜根をすることで、外来のネズミムギを駆除し在来のカモイグサを残すことが可能となった。[河川事業貢献度]通水をよくし、環境を整えるために再整備をしたワンドだが、「外来魚の親友を防ぐ」ために、本流からの流入が出水時のみとなり、日常的な本流との通水がなく、ヘドロがたまっている現状から、当初の市民提案にあるような工夫を施すことを団体の連名で提出することを申し合わせた。
4	2025/7/13	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催	8	1		1				3		○				●		●													●	[充実度]昨年もボートを用いたヒシの回収をおこなったが、経験を活かすことで、より効率よく作業することができた。[河川事業貢献度]ワンドでの維持管理作業がしやすいように、作業通路を整備したいという提案があり、様子を見ながら取り組むことにした。
5	2025/9/14	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催	18	2		1				3		○				●						●									●	[充実度]地元企業YKベーキングカンパニー㈱マンションリバージュ住民グループが参加し、きつい草刈り作業を引き受けてくれた。また、まるごと体験会の会場整備であるので、エコ部OBや石田ゼミも参加した。[河川事業貢献度]これまでイベントへの参加中心であった、地元企業と住民が川づくり活動に参加してくれた
6	2025/9/21	淀川まるごと体験会・夏	淀川河川公園点野野草地区、砂州、ワンド周辺	共催	107	9	4	2				3	○	○	●					●			○		●					●	●			[充実度]熱中症対策で午前のみ開催となってから、自然観察プログラムが欠けている状況が続いていたが、今回は連携団体の尽力により昆虫観察会を組み込むことができた。[定着度]ネット情報からとチラシを見ての参加が半々くらいのバランスであった。[地域貢献度]参加をきっかけに毎月定例でおこなっている水辺づくり活動に興味を持ってくれた方が複数いた。[河川事業貢献度]開会式、閉会式で市民提案による切り下げを伴う再整備工事が叶ったことなど言及すると、かつての不法耕作地やモトクロス場など知る人関心を持ってくれた。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																	
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																アピールポイント
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
7	2025/10/5	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催	8	1		1				3		○				●			●				●									[充実度]毎回、まとめとして活動を通じての気づきなどを共有する時間を設けている。本日は鎌で刈る手作業中心であったため、先月刈り払い機を担当した日の浅い参加者は、効率の悪さを感じたようだが、点野での川づくりの現場においては、草を刈る効率とは別の目的、選択的に残したい植物に対応できる草刈りが作業のポイントとなることを理科死していただいた。[定着度]先月に引き続き、マンションリバージュ住民の参加があった。
8	2025/11/9	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催	6	1		2				3				○		●			●												●	[充実度]参加人数が少なかったこと、早めに作業を切り上げたことで、フリートークの時間がとれた。[河川事業貢献度]本日作業した堤防から茨田樋遺跡水辺公園へのスロープ・階段は河川と町を結ぶプロムナードであることから、学生に経緯説明するとともに、イベントへの新たな企業や団体の参画もあるなか、このエリアでの川づくり街づくりの展望について話し合う機会を得た。
9	2025/11/23	茨田イチョウまつり	茨田樋遺跡水辺公園、点野1丁目地先左岸幹線水路	共催	133	5	4	3				3	○				●						●			●								[充実度]寝屋川市八中校区地域包括支援センターの方が見学に来られ、来年は地域の高齢者の役に立ちブースを出展したいと申し入れがあった。[定着度]恒例行事として、毎年来てくださる方が多い。Eボート乗船体験は、子どもだけではなく大人の乗船が増える傾向にある。
9	2025/12/14	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催	4	1		1				3		○				●		●													●	[充実度]これから水鳥が多く飛来する時期となるので、野鳥観察地としてのポテンシャルを高めることも利活用促進につながるので、何ができるか、したいことがあれば提案するよう投げかけたところ、一人の学生が興味をもち、考えてみると意欲を示した。[河川事業貢献度]新規Rが当地における川づくりのスピッツとメソッドを参考にするため参加され、上田RAと河川協力団体ねや川水辺クラブ竹井代表の話を長時間熱心に聞かれた。
10	2026/1/18	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催	6	1		1				3				○		●			●								●					[充実度]河畔の漂着ごみの多さを見て、放置できない状況であることから、永年継続して川づくりに取り組む主体として何ができるかとの投げかけに対し、学生から継続して水辺清掃に取り組みたいとの提案があり、急遽清掃時間を工面した。[地域貢献度]自主的に学生が清掃活動を取り入れた。
11	2026/2/8	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催																														
12	2026/2/8	■淀川水系一斉美化アクション■ 淀川京街道クリーン大作戦 点野	点野砂州およびワンドとその周辺	主催																														
13	2026/3/8	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催																														
14	2025/8	点野みんなの水辺づくり	点野砂州およびワンドとその周辺	共催																														連携団体との調整がつかず、とりやめ

氏名	安田　宇江亜	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	枚方出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
水辺の安全利用　　高槻市立丸橋小学校　２、４、６年生	ライフジャケット等浮力体の必要性と水難事故に遭遇した場合の対処法を知ってもらう。

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	丸橋小学校では、校区内の地域と連携し防災に力を入れており、災害時の取り組みや備 蓄等の貴重な話をきくことができ、今後学校を対象とした活動の参考になった。まだま だライフジャケット安全講習に出向いていない学校も多くあるため、積極的に活動する ことを目標としたい。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	今回、プールの形状が通常のプールの大きさではあるが、浅いエリアと深いエリアが柵によって分断されており、さらに高学年～低学年対象で各学年の時間も短く、十分な安全講習ができなかった。低学年においては、サイズの大きいライフジャケットを試行誤認して着用後、数分入水して終わってしまうという内容になった。また、マイクもなく拡声器も小さい物で、低学年への学習は難しいと感じた。今後は教師としっかり調整していきたい。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野(活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
									1) 計画達成状況	2) 課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		
1	2025/7/15	水辺の安全利用　　高槻市立丸橋小学校　２、４、６年生	高槻市立丸橋小学校	主催	291			1	普通	できなかった	2	2			●			○			○		●			○										[充実度]都度に児童からの意見を聞いた

氏名	山口　遼太	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	枚方出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
枚方市緑化フェスティバル	淀川の環境および自然に関する展示を行い、流域住民に淀川の現状を伝えるとともに自らの住む地域の川として関心を持たせることを目的とする。
牧野小学校いきいき広場　船橋川探検隊	小学校単位・多学年を対象として地域の河川環境学習を行うことで河川への関心を高めるとともに安全利用を促す。また、自らの住む地域の水害リスクとその対策について、考え行動する力を養うことを目的とする。
高齢者大学校「自然災害に備える科」　マイ・タイムライン講座	防災について学ぶ受講生に対して水災害リスクと避難行動計画の立て方を伝え、水防災意識を向上させることを目的とする。
寝屋川市立三井小学校　水辺の安全　出前授業	着衣泳・ライフジャケット着用体験を通して水辺の安全利用と水難事故発生時の対応方法を伝え、体験を通して経験と知識を養うことで水難事故を防止することを目的とする。
守口市立藤田小学校　水辺の安全　出前授業	着衣泳・ライフジャケット着用体験を通して水辺の安全利用と水難事故発生時の対応方法を伝え、体験を通して経験と知識を養うことで水難事故を防止することを目的とする。
枚方市小学校教員研修　防災学習	水害についての知識と、地域の危険性を学んだ上で、予想される災害に対してマイ・タイムラインの作成を通じて備えることの重要性を伝え、小学校において主体的に取り組んでいただく。

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	「水辺の安全出前授業」においては今後の活動展開を考えている新規レンジャーにスタッフ参加を促した。活動の打ち合わせから同行させることで下準備から活動実施までの要所を伝え、新規レンジャーが自身の活動として水辺の安全指導を実施できるようにした。 また、新たに水防災の啓発に取り組むレンジャーからの相談に対して、自身の活動で培った経験をもとに作成した進行スケジュールや資料の作成手法を共有。新規レンジャーの活動実施やスキルアップを間接的にサポートしている。 枚方市内では小学校での出前授業が定着しており、今年度は教職員の研修にも波及した。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	引き続き新規レンジャーや試行レンジャーのサポート・スキルアップを行いたい。 一方、枚方市内小学校からの出前講座依頼はなお増加傾向にあり、対応できるレンジャー要員を増やすにも限界がある。今後は学校教員が水防災の指導や学習展開を行えるような仕組みづくり・体制づくりを進め、定着させていくことが課題と考える。

2. 活動計画と実施結果

凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
									1) 計画達成状況	2) 課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度					
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		
1	2025/4/26	枚方市緑化フェスティバル	ニッペパーク岡東中央	協力	156		3					1		○		●			●	○	○	○	○	●	○	○	○	●								[充実度]ブースへの参加を促すためヨシ筆作りも実施した。[定着度]毎年河川公園管理センターと枚方市より要請を受けて実施。[地域貢献度]河川環境の紹介と河川敷の豆知識などを通して河川の利用を促進した。枚方多自然池での活動も伝え、参加者を募った。
2	2025/6/7	牧野小学校いきいき広場　船橋川探検隊	牧野小学校　多目的室、船橋川	協力	31							1	○	●						○				●				○	○							[定着度]継続した活動によって地域の協力スタッフも体験や安全監視の技術が身についてきている。
3	2025/7/4	高齢者大学校「自然災害に備える科」　マイ・タイムライン講座	大阪府助産師会館	協力	45							1	●						○	●				○												[充実度]昨年度、ハザードマップの見方が分からないという参加者がいたため、今回は共通の練習マップを用いて解説を行ったのち、マイ・タイムライン作成を行った。
4	2025/7/8	寝屋川市立三井小学校　水辺の安全　出前授業	寝屋川市立三井小学校	協力	84			1				1			●				○	○	○		●	○	○		○	○								[充実度]新規レンジャーにスタッフとして参加してもらい、企画実施する上での下準備や要所を伝えた。新規レンジャーはその後自身の活動として水辺の安全指導を実施した。
5	2025/7/9	守口市立藤田小学校　水辺の安全　出前授業	守口市藤田小学校	協力	71			1				1			●				○	○	○		●	○	○		○	○								[充実度]新規レンジャーにスタッフとして参加してもらい、企画実施する上での下準備や要所を伝えた。新規レンジャーはその後自身の活動として水辺の安全指導を実施した。

氏名	杉本　真一		区分	特例再任（1期1年目）	所属	高槻出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

【現状】～遊び方を知らない子どもたち～
子どもの生活スタイルが多様化し、遊び方の変化や放課後の塾や習い事で多忙であること等から、川で遊んだことのある子どもが少なくなっている。また、学校では「川は危ない、近づくな」と指導され、安全教育の必要性がある。
一方、風水害をはじめとする自然災害は増加傾向にあり、住民の防災意識は高まっていると共に、学校現場における「防災教育」へのニーズが求められている。
【目的】自然とふれあう機会が少ない子どもたちに、学校では経験のできない自然体験学習や防災学習を実施する。特に高槻市を南北に流れる芥川と淀川とのつながりを意識しながら、子どもの健全育成と河川への興味関心を深めていく。また、多くの世代へ淀川や芥川の魅力や現状を学び教え合う場を創出し、地域の防災や自然環境、歴史、文化などへの理解を深め、持続可能な「川づくりの担い手」を広げていくことを目指す。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期		特例1期	
				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
Step1 地域住民の関心を高める	【つながり】地域住民とのかかわり	①**「高槻ジュニア河川レンジャー」の実施** ・川と自然のかかわりを理解する体験プログラム ・参加者の募集や関係機関との調整 ②**「川の学習会～川スタ（ｽﾀﾃﾞｨの略）～」の実施** ・河川に関するテーマ（防災、環境、歴史観光等）を学ぶプログラム ※小学校などでの防災出前授業や地域の防災講座	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	【ひろがり】河川レンジャーが河川管理者や地域団体と協働	①**「高槻ジュニア河川レンジャー」の展開** ・他機関との協力体制を構築する ・参加者、サポートスタッフの育成		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
		②**「川の学習会～川スタ～」の展開** ・地域団体等とプログラムの実施（防災学習など）※防災学習:持続可能な活動に向け教育委員会等との連携		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	【ゆるやかな連携】地域団体が主体となる活動に向けた支援	①**「高槻ジュニア河川レンジャー」の展開** ・参加者が教え学び合う場づくりの支援 ②**「川の学習会～川スタ～」の展開** ・地域団体の避難訓練等への支援 ・小学校等での出前授業や、子どもたちが活動を発表する場の創出 ③**流域治水・川づくりプロジェクトの実施【連携】**鳥飼ワンド外来水草除去活動や地域と協働した活動の支援			⇒	⇒	⇒	⇒	

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	高槻ジュニア河川レンジャー活動については、天候不順や他活動との兼ね合いで実施することができなくなったが、レンジャーHPなどで広報活動を行い、実施することができた。川の学習会活動については、小学校の総合学習「水のふるさと学習」一環として、学年毎にテーマを設定した授業を実施することができた。流域治水・川づくりプロジェクトについては新規レンジャーにも協力いただき活動することができた。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	高槻ジュニアレンジャー活動については、実施時期の検討（夏季の実施内容）が必要。川の学習会活動について、市内の他小中学校への広がりを目指し、レンジャー活動の紹介や教員向けの研修の場を創出したいと考えています。流域治水・川づくりプロジェクトについては、実施地区の管轄出張所レンジャーへ活動を引き継ぐことができた。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																
									1）計画達成状況	2）課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度				
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2025/4/6	高槻ジュニア河川レンジャー	高槻市内　芥川流域（JR高槻駅～桜堤公園～芥川緑地公園～摂津峡公園）	主催	20				できた	できた	1	1	○	○	○			●	○	●		○				○		○							[充実度]保護者の方も参加できるようにしたことで参加者が増えた（親にとっても貴重な経験となっている）
2	2025/4/19	いまむらこどもえん　鵜殿のヨシで学ぼう！遊ぼう！！	いまむらこどもえん	協力	25			1	できた	できた	1	1		●			○	○		●				○					○						[充実度]親子で体験できる活動となったことがよかった[定着度]子ども園よりワークショップ（クラフト）の依頼を受けて実施できた
3	2025/7/25	摂津市水辺の生き物観察会	高槻市立自然博物館及び芥川緑地公園（芥川右岸）	共催	49				できた	できた	1	1		●	○					●	○			●		○		○							[充実度]いろんな魚を見せるため、河合先生、綾先生が開会前に採集いただいた。[定着度]摂津市の恒例行事となっているため、参加申し込みをすぐに打ち切った。（全小学校児童へチラシ配布いただいている）[地域貢献度]生き物観察を通じて川の自然の意義を伝えた
4	2025/9/14	高槻ジュニア河川レンジャー	高槻市総合センター１F展示ホール	主催	35				できた	できた	1	1	○					●	●		○			○	●			○							[充実度]子どもたちからの発表を通じて防災について考える機会を創出することができた。[定着度]高槻市市民公益活動サポートセンターに協力いただき、多世代の方が集まる行事に参画させていただいている。
5	2025/12/8	川の学習会（川スタ）～防災教室in三箇牧小学校～	三箇牧小学校～淀川築堤碑（R24.0付近）	協力	34			1	できた	できた	1	1	●					○	●		○			●											[充実度]校区版ハザードマップの改良（スーパーなどの目印をつけた）[定着度]今年度からは社会科（水のふるさと学習）として位置付けいただいた
6	2026/1/19	鵜殿のヨシ原見学会	鵜殿ヨシ原	協力	66			1	できた	できた	1	1		●					●	○	○			○				○							[充実度]ヨシとオギの実物を紹介し、違いをクイズ形式で行った。また、カヤネズミの模型など子どもたちの興味関心を高める工夫をした。子どもたちに感想を尋ねる方法としてシールを活用した。[定着度]子ども園からの要請を受け、当初は座学のみであったが、現地での見学会は２度目となる
7	2026/1/23	川の学習会（川スタ）環境教室　4年生	高槻市立三箇牧小学校	協力	28			1	できた	できた	1	1		●		○				●				○	○			●							[充実度]イタセンパラがなぜ減っているのか、子どもたちに質問し交流した。[地域貢献度]授業を実施していないが、６年生はヨシの学習の一環で、地元の雅楽団体による演奏会を実施したとのこと。
8	2026/2/5	川の学習会（川スタ）三箇牧小学校２年環境教室	高槻市立三箇牧小学校	協力	27			1	できた	できた	1	1		●						●				○				○							[充実度]どんな生き物がいるのか模型（カヤネズミ）を示して、子どもたちの理解を深めるよう工夫した。[定着度]今年度より「水のふるさと学習」として学年毎に淀川をテーマ設定して実施されている[地域貢献度]校内で出前授業を行った他学年から声をかけてもらった。学年毎に段階的な授業を実施することが効果的だと考えています
9	2026/3/14	■淀川水系一斉美化アクション■ 高槻ジュニア河川レンジャー	芥川流域（芥川大橋～次郎四朗橋）	主催																														
10	2025/5/25	高槻ジュニア河川レンジャー 川の安全ウォーク	芥川流域（塚脇バス停～摂津峡公園～摂津峡～上の口バス停）	主催																														雨天中止
11	2025/7	川の学習会～川スタ～	茨木川右岸（上野町付近）	共催																														福井公民館との開催日調整が合わずとりやめ
12	2025/10	川の学習会～川スタ～	高槻市立小中学校及びその周辺	主催																														10月で計画されているが連絡がないためとりやめ→時期を変更し実施する
13	2025/12	高槻ジュニア河川レンジャー	芥川流域（二十バス停～津之江公園付近～城西橋～JR鉄橋）	主催																														準備時間がないためとりやめ

氏名	竹本　克巳	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	高槻出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

子どもの遊び方が多様化し、水辺で遊びふれあう機会が減少しています。水辺への関心、遊びなどを通して「川の防災教育」をすすめる。
また、近年の自然災害、特に降雨災害は各地で増加している一方、住民の意識は低く、被害が多発している現状があり「防災」への関心を高めていくことが求められている。
そのために、子どもたちには、身近な河川での自然体験学習や淀川の歴史を学び関心を高めます。また、高齢者など地域住民には、身近な河川である淀川の歴史を紐解きながら地域防災や河川への理解を深めて行くことなどを目指します。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	川での自然体験学習など川とふれあう場を提供しながら、地域住民の川への関心を高め、川の防災活動に繋げる。 地域を流れる淀川の歴史、文化などを学び河川事務所の取組む河川整備の状況を発信しながら地域住民への防災意識を高める。	**三島江野草地区周辺での環境啓発活動の継続** ・歴史探訪（4月）、野鳥探索（1～2月）	⇒	⇒	⇒	⇒	
		川に関わる防災学習会、河川管理施設等見学会 ・地域自治会等の要請に応じた講演・学習会・見学会等への協力（年間数回）		⇒	⇒	⇒	
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	地域自治体や活動団体などと協議・連携を行い、相互協力体制の構築を目指す。	**三島江野草地区での地域の自然保護団体等との協働**（１か月に1回程度） （主催活動ではなく、調査・保全として位置づけ草刈り・樹木の剪定など定期的に実施）	⇒	⇒	⇒	⇒	
		三島江野草地区の維持管理 ・草刈りと樹木の剪定・水質調査等（10月） ・淀川・芥川クリーンアップ大作戦（3月）	⇒	⇒	⇒	⇒	
		防災リーダー育成、地域と連携した防災体験学習会 ・自治体・自治会と連携して地域特性をふまえた防災学習や防災訓練の企画・運営			⇒	⇒	
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	三島江地区などを拠点に活動する環境保全団体の創出を目指す。 地域住民等と連携して、河川整備（防災、環境など）に関する意見交換を行い、行政へ発信することを目指す。	三島江野草地区の自然保護を継続する体制づくりと参加者の拡大	⇒		⇒	⇒	
		「川の防災」や「河川整備」についてのワークショップ開催				⇒	

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	・三島江野草地区でのワンド周りの樹木の伐採や環状剥皮などによる、樹林化防止等の環境保全活動の継続と地域や公民館等の自治体との連携による活動が少しずつではあるが継続して展開できてきた。 ・自治体への河川レンジャー活動を広報・宣伝することで、防災訓練などのイベント等への協力・連携依頼が増え、河川レンジャーの活動が認識されるようになってきた。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	・三島江野草地区での活動に関して、河川の保全・利用の手法等についての再検討や保全に係る活動団体等との活動を継続し地域に発信していきたい。 ・川の防災活動について自治体・地域等への働きかけや活動に伴う参加者の拡大と連携手法等について模索する。 ・淀川の歴史や文化についても、施設見学会等の開催を企画し、地域住民の防災意識を高める。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野(活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															アピールポイント
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2025/4/2	春の淀川・桜の玉川を歩く（淀川フィールドワーク）	三箇牧公民館及び三島江野草地区周辺、番田川	共催	18		1		できた	できた	1	1		○			●		○	●	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○				[充実度]歩行ルートである河川公園や野草地区、堤防築堤碑、玉川の歴史など解説資料を作成し説明し理解を得る工夫をして案内をした。 淀川の整備（堤防補強工事）や河川公園の整備、淀川からの取水の現状など説明し沿川の様子を案内出来た。[定着度]講座の開催は高槻市内全域に配布される広報誌「たかつきDAYS」に掲載され、地域外からの参加者が多く、淀川の沿川を見るのが初めての人があり、歩行距離も適度であった。[地域貢献度]参加者に河川敷公園や野草地区や地域の史跡の存在を知らせることが出来て交流出来た。
2	2025/7/27	地域を流れる淀川と水防災	高槻市柱本公民館	共催	25	2	1		できた	できた	1	1	●			○	○		○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	●	○		●	○	[充実度]地域にあった洪水時などの避難対策を、地域のハザードマップや避難所一覧を作成し、避難の重要性や非常時の対応等についての認識を深めることが出来た。[定着度]防災学習を継続して地元防災会と協力して開催することにより地域住民の認識が深まって来ている。[地域貢献度]地域の公民館で開催することができ、洪水時の避難方法等について参加者にアピールすることができた。[河川事業貢献度]淀川の現状や河川整備など紹介することができ、危険個所などについての意見も聞けた。
3	2025/9/16	ヨシ原と生き物　（対象：小学2年生）	高槻市立上牧小学校	協力	50			1	できた	できた	1	1		●					○		●			●				●	○	○				[充実度]担任の先生から事前に授業内容について打合せ等を行い要望に応えられた[定着度]よし原に近い学校で活動をすることで今後に継続して、ヨシについての活動を行いたい[地域貢献度]川とヨシとの話を伝えることができ、ヨシについて興味を持たせたと思う[河川事業貢献度]ヨシを通じて少しでも淀川の魅力を伝えられた
4	2025/9/27	防災体験学習	茨木市三島中学校	協力	146		4		できた	できた	1	1	●						○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○		○			[充実度]市が開催する防災訓練には消防署も出動する場合が多いので準備として消防ポンプ車で給水依頼をしておくと設置が早い。 また、参加者からこのような体験は有意義なので自分たちの地域でもやってほしいという依頼が多くあった。[定着度]浸水地歩行体験は地域や行政からの依頼が多い。[地域貢献度]浸水地歩行体験を説明・体験することで近くの川の状況などを話す機会が増えた。[河川事業貢献度]体験・説明を通じて河川整備の現状など伝えることができた。
5	2025/12/3	地域の川（淀川）と防災（対象：小学4年生）	高槻市立上牧小学校	協力	42			1	できた	できた	1	1	●				○		○	○	●			●				●						[充実度]担任の先生と、事前に内容等について打合せを行い、要望に沿った内容で進められた[定着度]川と水害についての意識が高められた 学校でのレンジャー活動が継続でき、活動が増える傾向である[地域貢献度]地域周りの環境や水害の歴史等を伝えることで川への興味を向上させたヨシを通じて少しでも淀川の魅力を伝えられた
6	2025/12/9	水害・地震から身を守るために	高槻市立津之江小学校	協力	54	1	1	1	できた	できた	1	1	●						○	○	●			●				●						[充実度]時間が短かったが担任の先生と、事前に内容等について打合せを行い、要望に沿った内容で進められた[定着度]川と水害についての意識が高められた 学校でのレンジャー活動が継続でき、活動が増える傾向である[地域貢献度]地域周りの環境や水害の歴史等を伝えることで川への興味を向上させた

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																アピールポイント
									1）計画達成状況	2）課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度				
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		
7	2026/1/18	防災体験学習	島本町立第三小学校	協力	136		1		できた	普通	1	1	●						○	●		○	○	●	○				●						[充実度]島本町役場にレンジャー活動を広報でき出展して住民にもアピールできた。 島本町内の川づくりパートナーさんにも参加してもらうことができた。[定着度]島本町危機管理課と連携して出展できた[地域貢献度]ハザードマップを展示し説明することで、浸水の危険度や避難場所等の説明ができた
8	2026/2/7	冬の野鳥観察会in三島江野草地区	三箇牧公民館及び三島江野草地区	共催	19		1		できた	普通	1	1		●		○						●	○	○	○	○	●	●				●			[充実度]市の広報で市内全地域に案内出来、参加者も市内あちらこちらからの参加を得られ、参加者に興味をもたすことができた。[定着度]毎年、野草地区で活動を継続的に行うことで少しずつ地域からの参加者も見られるようになった。[地域貢献度]野鳥観察という新しい視点で行えるようになってきた。[河川事業貢献度]参加者に淀川改修などの様子を野鳥観察を通じて紹介出来た。
9	2026/3/8	伏見と宇治川・淀川の歴史探訪	三栖閘門資料館、三栖閘門及びその周辺	共催																														
10		防災体験学習会～地域の水害について考えてみよう	高槻市の山間部の地域（高槻市内）	共催																														地域と話がまとまらないためとりやめ

氏名	奥山　佳一	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	高槻出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

淀川は大阪で最も大きな河川であり、昔から生活や文化など地域住民に多くの影響を与える存在であった。ところが、高度成長期頃の水質汚染や河川改修などにより、身近だった淀川は人々を遠ざけるような河川になってしまった。その後、多くの河川と同様に淀川も水質が改善され、護岸も整備されことにより、河川敷では多くの生物を観察できる場になった。しかしながら、「川の水が汚い」というイメージは残ってしまい、気軽に水辺に入って魚を捕ったり、生物を観察するという行為は減ってしまった。当時の河川に対するイメージを持ったまま大人になった人の河川に対する悪い意識は、残ったままである。その意識は子ども達にも影響し、水辺で遊ぶ文化は無くなってしまっている。その一方、世界中で環境に対する意識は高まり、身近な河川の環境を改善していこうという考えは広まっている。今、河川の水は以前よりもずっときれいになった。魚など多くの生物が戻って来た。こうした身近に見られる変化を子どもから大人まで肌で感じてもらい、これからさらにどんな環境作りが必要か考えてもらうきっかけを与えていける場を作っていくことを目標とする。

1.2活動の目標　目的を達成するための段階ごとの目標とそれを達成する手段(活動内容)を記載　⇒で目標達成までの期間を入力

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	水生生物の捕獲活動や観察を通じて、身近な河川の環境状況を知ってもらう。 さらに、生物の説明や観察地の現状を考えることによって自分たちの出来ることを考えてもらう。	河川に入っての捕獲活動と生息していた生物の観察。	⇒	⇒			
		河川近隣の小中学校で「北摂の川の生物と環境」について講座					
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む							
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築							

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	自分自身が現在参加している活動を通して多くの人に河川レンジャーの活動を紹介しているが、ほとんどの人は存在を知らない。それどころか環境保全活動に参加している人でも淀川を含め、川に対しての知識の無い人が多いのには驚いている。 多くの人に淀川の作り変えの歴史や水生生物を紹介し、環境問題を考えるきっかけづくりをしていきたいと考えている。他団体で川を通して多くの活動が実施されているが、参加者はもともと河川に興味があるため、関心のある層への働きがけは可能である。しかし、それ以上の裾野を広げることは難しい。無関心な人に関心を持たせるのに一番効果的なのは学校教育からだと考えている。私は教諭としての経験があり、学校教育に河川のことを結び付けていくことが河川に対しての興味を持つ層の裾野を広げるのには効果的だと考えている。特に小学校の総合学習に関するプログラムに河川の事にふれる内容があり、どの学校でも出前授業を実施出来る可能性がある。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	試行期間では、吹田市の環境フェスタで出会った方のつながりが出来て、その方の小学校での出前授業が実施できた。しかし、他の地域にも広げようと茨木市や摂津市の小学校に出向き、河川レンジャーの役割や自分の実施出来る出前授業の内容について説明したが、年度途中での実施は難しいと断られた。学校の行事を検討する４月当初に話を持って行く必要かあることを痛感した。また、自分の実施したい授業は、教室内だけではなく、河川に直接行って観察会を実施する内容を含んだものである。しかし、近くに河川が無い学校が多く移動に時間がかかり時間内での実施に無理がある。身近に河川のある学校も入水できるような河川でないことが多い。そのため、現在、観察会の実施可能な河川や観察会の出来ない場合の生物観察の方法等を検討している。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動（理由をアピールポイント欄に記載）、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
									1）計画達成状況	2）課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度					
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮			
1	2025/7/14	出前授業　環境教育	吹田市立岸部第二小学校	協力	88			1	普通	普通	1	1		○	○	●	○		○	●	○				●			●	○								[充実度]河川の動画や実際の河川のゴミの現状などを視聴させ児童の記憶に残りやすい工夫をした。二学期後半に淀川の学習をするので河川の流れなどを通して内容が結びつくように工夫した。[定着度]淀川からやや遠い地域なので関心のない児童が多い。また、教科書に淀川に関することが出てきているが教える側の先生方も知識が無く外部の力を借りたいという要望があった。[地域貢献度]児童の感想を見ると河川の環境に対しての意識は高まったと思う。また、河川を通して出来る体験への興味を持ってくれた児童が結構いた。
2	2025/11/19	河川のつくりかえ　出前授業	吹田市立岸部第二小学校	協力	94			1	できた	できた	1	1	●	○	○		○		○	●	○				○			○	○								[充実度]今回は、淀川からやや遠い学校であったので、実際に様子を見る機会が少ない児童が多くいることを想定した。自分もしっかり現地を見学していないこともあり、今回は現場に行き写真や動画を撮影し授業に活用した。
3		淀川流域に生息している生物を知ろう	芥川　芥川大橋から次郎四郎橋までの間（堤運動広場横付近）																																	数回にわたり実施可能場所を探したが、芥川の河川に安全に降りる道が一つしかなく他のルートは急斜面で利用できなかった。また、階段があり安全に降りることの出来たルートでは、河川の変化が少なく生息している水生生物が少なかった。安全に観察会を実施できる場所を探している。

氏名	小林　勝男	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	高槻出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

川辺への関心、事故や災害に対する備えなどを通して「川の防災教育」をすすめる。また、自然災害、特に降雨災害の脅威は凄まじく、想定外の被害が続発していることから、災害の発生・被害の発生を受け止めて「備える」ことの重要性を訴え、住民の意識の高揚を図る。
そのために、地元小中学校と連携し、身近なプールなどでの体験学習を通じて関心を高めます。また、高齢者など地域住民には、淀川の歴史を解説しながら地域防災や河川への理解を深めることを目指すとともに、淀川に係る防災意識の啓発を目的とする。

1.2活動の目標　目的を達成するための段階ごとの目標とそれを達成する手段(活動内容)を記載　⇒で目標達成までの期間を入力

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	近年、計画を越える洪水や観測史上最大となる降雨が多発し大型河川の氾濫が発生しているのに「淀川は大丈夫！」と楽観視している市民が少なくない。そうではない、淀川も氾濫の恐れがあることを認識し危機感を持ってもらうことを目標とする。	「大塚切れ」や他府県おける大型河川の氾濫の状況についてのレクチャー。河川の氾濫、洪水に伴うリスクを「水辺の安全授業」などで体験し、「マイタイムラインづくり」で避難上のリスクを洗い出し安全な避難計画を策定して頂く。	⇒	⇒	⇒		
Step２							
Step３							

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	試行期間において「川の防災教育」という活動を通して、子ども達が淀川に親しみながらも、自分の命を守れるようになるための土台作りに取り組んでまいりました。淀川は私たちに豊かな自然の恵みを与えてくれる場所ですが、一歩間違えれば恐ろしい場所に変わります。その「光と影」を正しく伝えたい、という想いがこの活動の原点です。具体的には、地元の小学校と連携しプールの授業を活用した「着衣泳」の指導を行いました。特に力を入れたのは、「溺れている人を見つけても、絶対に飛び込まない」という教えを徹底することです。そのために、ペットボトルや身近な日用品を救助道具に見立てた小道具を充実させ、「知恵を使って助ける」体験を重視しました。子ども達が目を輝かせながら、どうすれば安全に助けられるかを考えている姿が非常に印象的でした。この活動には、予想以上の反響がありました。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	本格的な導入は令和8年度からを予定していましたが、学校側から「ぜひ今すぐやってほしい」と熱烈な要望をいただき、急遽前倒しで実施することとなりました。このスピード感のある実現は、教育現場がいかに「生きた防災教育」を求めているかの現れだと確信しています。 おかげさまで、学校側からも高い評価をいただき、次年度以降も継続して取り組むことが決まりました。実施後の子ども達の言葉が、何よりの成果です。ある児童は「川は楽しいけれど、水の中には危険がいっぱいなんだと思った」と感想を寄せてくれました。ただ「怖い」と遠ざけるのではなく、リスクを正しく理解した上で川と付き合う。この一歩こそが、地域全体の水難事故防止につながる大きな貢献になると信じています。私の活動はまだ入り口の門を叩いたばかりです。来年度はさらに指導の質を高め、この「川の防災教育」が地域の伝統として根付いていくよう尽力してまいります。子ども達が安全に、そして豊かに自然と触れ合える未来を、これからも地域の皆様と共に作っていければ幸いです。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野（活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択）

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度					
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮			
1	2025/7/14	枚方市立五常小学校　水辺の安全出前講座	枚方市立五常小学校	協力	77			1	普通	普通	1	1			●					●				○				○									［充実度］本年７月９日に着衣泳の出前授業にスタッフとして同行し貴重な勉強をさせて頂きましたが、その時に自分なりに充実させるための手段として考えたこと（溺者救助の小道具の充実・笛の使用）が実践できた。
2	2025/7/15	高槻市立柱本小学校　水辺の安全	高槻市立柱本小学校	協力	54			1	普通	普通	1	1			●					●	○				●			○	●								［充実度］「溺者を発見した際に飛び込むのではなく身の回りにある物を使用して助ける」ことを指導するための小道具を充実させた。［定着度］本活動は令和8年度の学校行事に取り入れてもらえるよう依頼したものであるが、学校側の要望で急遽実施することとなった。次年度以降も継続的に行うこととなると思われる。［地域貢献度］アンケート中「水の中には危険がいっぱいなんだなーと思いました」とあるように、川が楽しいところではあるが危険が潜んでいることも理解した。［河川事業貢献度］
3	2025/10/	地域連携で淀川の安全を考えよう																																		家族の介護が必要となり活動時間の確保が困難になったため、活動をとりやめました。
4	2025/11/	地域連携で淀川の安全を考えよう																																		同上

氏名	酒井　信行	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	高槻出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
自然とのふれあい（三島江野草地区）	川と人とのかかわり（環境保全） 地域を流れる淀川との繋がりを深め、地域住民等と連携しながら河川敷→削除公園の保全を考える。 川とふれあう場をつくり、自然を体験しながら河川整備への理解を深める。 ヤナギの再樹林化の防止を目的に、環状剥皮法の試験地を設け効果の検証を行っている。
秋のワンドでいきものさがし（鳥飼ワンド）	摂津市鳥飼地区では、現在、河川防災ステーション整備に向け、準備が進められている。また、鳥飼地区のまちづくりについて住民を巻き込んだワークショップを展開されていることから、水辺の利活用や防災拠点として注目を受けている。 川の持つ営力を最大限に活かすワンド改良工事が完了し、今後の維持管理や河川環境について、広く住民に知ってもらうことで、地域住民の方とのつながりを築き、ワンドの再生・持続可能な維持管理体制の構築・利活用につなげることを目的とする。
■淀川水系一斉美化アクション■ 第21回淀川・芥川クリーンアップ大作戦 三島江地区	淀川水系一斉美化アクション （第20回淀川芥川クリーンアップ大作戦） 一斉清掃を行い水辺環境の保全とマナーの向上に繋げる 河川美化、水辺の環境保全、ゴミを捨てないマナーアップに取り組みます。 また、マイクロプラスチックによる海洋汚染などの生態系を脅かす地球規模の課題に直結している川ゴミを除去するなど、淀川水系から地球規模の課題を解決しましょう。 そして、四季折々の自然豊かで生き物を育む淀川水系をみんなの手で美しく守っていきましょう。

実施結果は、連携活動ページにとりまとめています。

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	自然とのふれあい（三島江野草地区） ・試験地を設け環境剝皮法の検証を行ったが一定の効果が確認された。 ・地域の中学生がタマリを含めた野草地区の保全を目的に、ヤナギの伐採について、月２～３回自主的に活動ぢている。 ・また、環状剥皮法の検証も併せ実施していることから、今後育成することにより本地区の保全団体の中心になることが期待される。 秋のワンドでいきものさがし（鳥飼ワンド） ・大量に発生した外来水草を、大学生・企業等で駆除体制を組みで効果的・効率的に駆除できた。 ・外来水草を持ち出さない「淀川方式」の駆除方式に効果の検証ができ、維持管理の削減に繋げた。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	自然とのふれあい（三島江野草地区） ・「河川の生態系の保全を前提とした利用」の観点から、野草地区の利活用の在り方について地域住民と考え、管理者に提案する。 ・再樹林化によりタマリの劣化が進行していることから、さらなる保全体制の構築が急務である。 ・伐採木の処分方法 秋のワンドでいきものさがし（鳥飼ワンド） ・レンジャーの提案も踏まえワンドは改良されたが、外来水草の繁茂にによりワンド環境が悪化している。R7は駆除体制を構築し駆除したが多くの時間と労力を酔いした。R8極小群落をモニタリング調査で発見し低密度管理で駆除する。 ・ワンドが改良され住民が近づきやすくなったが、ワンドの理解が不十分なので、現地に標識などでの広報が必要である。 第21回淀川・芥川クリーンアップ大作戦 三島江地区 ・クリーン作戦の効果もあり三島江野草地区ではゴミが少なくなってきている。 本川側の水際にはゴミが確認できるが安全上の課題もある。

氏名	原　健二	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	高槻出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
淀川河川公園大塚地区課題検討WG （2025年5月～2026年3月）	淀川右岸大塚地区公園整備計画に対して活用面や安全面での課題に対してその具体的な解決にむけ地域住民や行政で構成する課題検討ＷＧで検討を進め公園整備計画のベストな実現に向けて推進する。
春の野草観察とたたき染め	淀川河川公園大塚地区の隠れた魅力を公園利用者に発見していただくため、春（初夏）の河川公園で見られる野草を観察し、採取した草花でたたき染めをして大塚地区の自然に親しみを感じていただくことを目的とする。 （高槻市南大冠公民館との共催で実施）
バッタのオリンピック	淀川河川敷で採集したバッタの飛距離を競うバッタのオリンピックを通じて淀川の自然との触れ合いを推進するとともに参加者から淀川河川公園含めた河川敷に対する意見・要望をアンケートを通じて入手する。
秋の野草観察とリースづくり	淀川河川公園大塚地区の隠れた魅力を公園利用者に発見していただくため、秋の河川公園で見られる野草を観察し、採取したクズや実を利用してリースづくりをして大塚地区の自然に親しみを感じていただくことを目的とする。 （高槻市南大冠公民館との共催で実施）
地区コミュニティ文化祭出展	２つの地区コミュニティ文化祭で大塚ワンドを中心とした展示で淀川の環境について地域の人たちに知ってもらうと共に河川レンジャーの認知度の向上を図る。
冬の野鳥観察と野草の迷路探検	淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトの一つの取り組みとして冬の河川公園利用推進を目的に野鳥観測と野草迷路探検を実施する。（高槻市立南大冠公民館と共催で実施）
■淀川水系一斉美化アクション■ 淀川芥川クリーンアップ大作戦　大塚地区	淀川芥川クリーンアップ大作戦の１拠点として淀川右岸大塚地区の清掃活動を通して河川美化、水辺環境保全に取り組むとともに「マナーアップ」の意識向上を参加者と共有する。また、大塚ワンドの存在を参加者に知ってもらう。

3. 総　括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	淀川河川公園大塚地区課題検討WG ・昨年度設計が完了した大塚ワンドへのアクセス階段護岸実現に向け、大塚ワンドの活用検討として地域文化祭でのアンケートで利活用に関しての地域住民意見を収集しWGメンバーと共有できた。 淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクト ・四季を通じての大塚地区での活動（秋の野草観察とリースづくりは雨で中止）を実施し、大塚地区での活動の定着が図れた。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	淀川河川公園大塚地区課題検討WG ・堤防道路横断の安全性改善に向けては現状対策が行き詰まっている状況でもあり、開催頻度を現状の１回/２ヶ月を１回/３ヶ月での開催にする方向で進める、但し、１回のWGでの議論内容の密度を上げて開催する。 ・大塚ワンドの利活用に関しては簡易遊歩道の整備含めて本WGの中で継続して検討していく。 淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクト ・次年度も四季を通じてのイベント開催を継続して開催し、公民館や公園管理センターにその主体の移管を進める。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野　●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野(活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															
									1)計画達成状況	2)課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
													A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2025/5/12	淀川河川公園大塚地区課題検討WG	高槻市冠コミュニティセンター	主催	13	2	2					3		○		○		●		●	○			○	○			○						[充実度]令和7年度第1回目の開催に際して今年度の本WGの取り組みを改めてメンバーと共有できた。
2	2025/6/22	春の野草観察とたたき染め	淀川「河川公園大塚地区	共催	47		1					1		●			○			●		○		○		○		○						[充実度]今回、野草観察だけでなくトートバッグに採取した草花でたたき染めをするという新しい取り組みを実施した。参加者からの関心も高く河川敷の自然を身近なものにできた。
3	2025/7/14	淀川河川公園大塚地区課題検討WG	高槻市冠コミュニティセンター	主催	10	2	1					3		○				●		○	○			○	○			○			●			[河川事業貢献度]昨年度設計が完了した大塚ワンドへのアクセス（階段護岸）に関して地域でその実現に向け活動を展開することの必要性を共有した。
4	2025/9/22	淀川河川公園大塚地区課題検討WG	高槻市冠コミュニティセンター	主催	8	2	2					3		○				●		○	○			○	○			○			●			[河川事業貢献度]大塚ワンドへのアクセス（階段護岸）に関して地域でその実現に遊歩道の整備や外来植物の駆除活動の検討の必要性を共有できた。
5	2025/9/28	バッタのオリンピック	淀川河川公園大塚地区	共催	64		1					1		●	○				○			○		●		○		○						[定着度]参加者の半分以上がリピーターである。自然の中で親子で楽しめる活動として位置づけられている。
6	2025/11/2,3	地区コミュニティ文化祭出展	冠コミュニティーセンター	協力	80							1		●		○				○	●			○	○	○		○						[充実度]大塚ワンドを中心とした展示だけでなく大塚ワンドで参加したいイベントや活動のアンケートで地域住民の意見を収集することができた。
7	2025/11/8,9	地区コミュニティ文化祭出展	南大冠公民館	協力	66							1		●		○				○	●			○	○	○		○						[充実度]大塚ワンドを中心とした展示だけでなく大塚ワンドで参加したいイベントや活動のアンケートで地域住民の意見を収集することができた。
8	2025/11/17	淀川河川公園大塚地区課題検討WG	高槻市冠コミュニティセンター	主催	12	2	2					3		○		●		○		○	○			○	○			○			●			[河川事業貢献度]大塚ワンドの活用に関するアンケートによる地域住民の意見をベースに本WGで推進することが確認できた。
9	2016/1/19	淀川河川公園大塚地区課題検討WG	高槻市冠コミュニティセンター	主催	12	2	1					3		○		●		○			○		●	○	○			○			○			[充実度]今回から地域住民代表として新たなメンバーが加わった。新たな視点での意見が期待できる。
10	2026/2/7	冬の野鳥観察と野草の迷路探検	淀川河川公園大塚地区	共催	50		1					1		●		○						○		○	○	○	●	○						[定着度]今回は５回目の開催となったが講師の知名度や本活動の地域での定着により参加者がこれまでで最も多くなった。
11	2026/3/9	淀川河川公園大塚地区課題検討WG	高槻市冠コミュニティセンター	主催																														
12	2026/3/14	■淀川水系一斉美化アクション■ 淀川芥川クリーンアップ大作戦　大塚地区	淀川河川公園　大塚地区	共催																														
13	2025/10/26	秋の野草観察とリースづくり	淀川河川公園大塚地区	共催																														雨天中止

活動報告集計表＜連携活動＞

実施結果　福島出張所管内

No.	河川レンジャー名	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																アピールポイント
		活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目 1)計画達成状況	確認項目 2)課題改善をふまえた取組	STEP 計画	STEP 結果	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目 活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度				
																				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
														A	B	C	D	E	F																	
1	兒玉R 白川R	2026/2/28	西淀川区淀川右岸クリーン大作戦	JR神戸線橋梁－河川敷－淀川大橋（下流に移動）	共催																															

実施結果　毛馬出張所管内

No.	河川レンジャー名	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																アピールポイント
		活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目 1)計画達成状況	確認項目 2)課題改善をふまえた取組	STEP 計画	STEP 結果	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目 活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度				
																				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
														A	B	C	D	E	F																	
1	杉本R 伊藤R	2025/6/1	鳥飼ワンド探検ツアー　川づくりプロジェクト第11回	鳥飼ワンド	主催	30		1		できた	普通	1	1		○	○	○		●	●		○	○		●		○		○			○	●				[充実度]淀川わいわいガヤガヤ祭実行委員会に参画したことで、活動実施に向けた取組みがスムーズに進んだ。初めてアンケート調査を実施した。[定着度]・地元摂津市長に直接レンジャー活動を広報して、鳥飼ワンドの利活用を連携して進めることを確認した。 ・今回は、淀川河川公園を楽しむ情報誌「よしぶえ」に掲載したことで、多くの参加が得られた。地元である摂津市民の参加が増えるよう、今後、工夫していく必要がある。[河川事業貢献度]ワンドの維持について関心を持つ参加者がいた。これからの取組みが重要と考えている。初めてアンケート調査を実施し、一般参加者の河川利用に対するニーズを把握した。
2	杉本R 酒井RA	2025/11/8	秋のワンドでいきものさがし	鳥飼ワンド	共催	37		1		できた	できた	2	2		●			○		●		○			●		●	○			●					[充実度]・ワンドのことをわかりやすく説明したクイズを大阪成蹊大学学生チームが作成した。 ・地域の小学校、公民館へのチラシ配布した。[定着度]摂津市広報誌やワンド周辺の小学校への募集チラシを配布した。[地域貢献度]・ワンドがどんなものか知らない方に講師や学生による解説を通じ、理解が深まっている（アンケートより） ・摂津市が初めて共催になる。[河川事業貢献度]ワンドのモニタリング調査を河川管理者と分担し、レンジャー担当分を河川管理者に提供する。
3	杉本R 伊藤R		鳥飼ワンドクリーン作戦（仮称）	淀川河川公園鳥飼地区、鳥飼ワンド	主催																															とりやめ

実施結果　枚方出張所管内

No.	河川レンジャー名	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
		活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
										1) 計画達成状況	2) 課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
														A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	岡村R 山口遼RA	2025/7/23	枚方市小学校教員研修　防災学習	枚方市立川越小学校	協力	27				できた	できた	1	1	●						●					●				○								[充実度]・今回が初めての研修でしたので、来年以降も４年生の担任教諭向けに継続して研修会を実施いただければ有難いのでフォローしていきます。[定着度]枚方市内の小学校からの要請でしたので今後も防災授業だけでなく幅広く学童のみなさんに河川レンジャー活動の認知してもらえるよう努力します。[地域貢献度]淀川河川事務所からの協力をいただき先生方に淀川を知っていただけました。
2	波戸R 道場R 岡村R 竹本克R 中野R	2025/11/14, 15	ふれあい土木展	国土交通省近畿地方整備局　近畿技術事務所	協力	985							1	●			○		○	●			○	○				○	○							[充実度]・新たに防災については避難について取り組んだり、各ブースごと前回に比べ積極的に来場者にわかり易く提案し、多くのみなさんに河川レンジャーをＰＲできました。

活動報告集計表＜連携活動＞

実施結果　高槻出張所管内

No.	河川レンジャー名	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																		アピールポイント
		活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目																		
										1) 計画達成状況	2) 課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
														A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	竹本R 酒井RA	2025/6/29	自然とのふれあい（三島江野草地区）	淀川三島江堤防及び河川敷切り下げ区域（野草区域）周辺など	主催	17			2	できた					●		○			○	○	●	●		○	●	●			○	○	○						[充実度]新規レンジャーにも声掛けし活動経験してもらえ、新しい経験に繋がった。[定着度]ワンドの存在を知ってもらうことが出来、他地域からの参加も見られた。[地域貢献度]他地域からの参加で、野草地区の存在やワンドの状況を知ってもらい子ども達に興味を持たせることが出来た。[河川事業貢献度]参加者に活動を通じて、河川公園の現状や淀川の特性など紹介出来た。
3	竹本R 酒井RA	2026/3/14	■淀川水系一斉美化アクション■ 第21回淀川・芥川クリーンアップ大作戦 三島江地区	三島江河川公園	共催																																	
2	竹本R 酒井RA	2025/10	自然とのふれあい（三島江野草地区）	淀川三島江堤防及び河川敷切り下げ区域（野草区域）周辺など	共催																																	都合がつかずとりやめ